

科目名	情報科学概論			科目コード	24010		
英文名	Outline of Information Sciences			科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(選択)		
担当教員	日坂 彰		教員コード	137	単位数	2単位	
開講期間	後期	曜日・時限	木曜日・5時限		授業形態	講義	
学位授与方針との対応	◎	1.大学生としての幅広い教養を身につける	○	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する			
	○	3.論理的・批判的なものの見方を養う	○	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する			
	○	5.学習の過程で発見した課題を探求する	○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う			
授業概要	情報科学概論は、情報科学の基礎やコンピュータやインターネットの仕組み及び原理を学習する。特に、コンピュータのハードウェア、ソフトウェアについて、その詳細を学習する。						
授業の狙い・到達目標	情報科学概論は、情報科学の基礎を学び、情報系専門科目の情報システム論、セキュリティ概論、プログラミング基礎等の基礎となる内容を学習する。コンピュータの内部処理やインターネットの仕組みや原理を学習する。併せて情報セキュリティや情報関連の法律についても学ぶ。情報系専門科目を履修するうえで必要な知識を習得できる。						
授業内容のレベル・関連科目	授業内容は情報資格試験のITパスポート試験合格レベルの内容である。身の回りや社会の基盤となっている情報システムに関心をもつことが重要である。情報システム論やセキュリティ概論を併せて学習することが望ましい。関連科目は、コンピュータ科目全般である。						
授業外学習(予習・復習)	毎回、授業計画にある学習項目や教員から指示された学習項目について教科書で予習することが必要である。学習した技術用語は専用ノートを用意し記録し、いつでも復習できるようにする。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計60時間		
使用教科書	安藤明之『最新情報処理概論 改訂版』実教出版						
参考書・その他教材	IT用語辞典(インターネット版)						
課題に対するフィードバック	課題毎に点検、フィードバックを行う。						
成績評価方法	レポート(70%)、授業への貢献度(30%)で総合的に評価する						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規定に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	授業中に専門用語や情報関連の技術用語が多数使用されるので、ネット上のIT用語辞典等で予習復習を行い、ノートに記録すること。						
科目に関連した教員の業務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	本学 Google Workspace for Education Gmail:anissaka@aikoku-u.org						

### 授業スケジュール

### 情報科学概論

1回	学習内容 予習 復習	ガイダンス、情報科学概論の概要、社会と情報システムの役割 シラバスを読み、授業の概要について概ね理解しておくこと、 授業の目的、授業の進め方等を振り返り、到達目標を理解し次週からの授業に備える
2回	学習内容 予習 復習	情報科学の基礎、情報量や通信速度の単位。基礎技術用語等について学ぶ 自分の携帯電話の記憶容量を調べておく、教員から提示された学習項目をテキストで調べること 授業で使われた技術用語を専用ノートを用意し、整理記録し復習すること
3回	学習内容 予習 復習	情報科学の基礎、情報量や通信速度の単位。情報の要素等について学ぶ 教員から提示された学習項目を教科書で予習し、情報の種類や形式についても予習すること 画素、ピクセル、4K、8Kなど情報量の計算方法について復習し、ギガ、テラ、ペタなど単位を復習
4回	学習内容 予習 復習	情報科学の基礎、アナログ信号とデジタル信号、A/D変換、デジタル化の利点等について学ぶ 教員から提示された学習項目を教科書で予習し、なぜデジタル化の利点について予習する 文字、音声、画像、動画のデジタル化の方式について復習すること。情報圧縮方法を復習する
5回	学習内容 予習 復習	コンピュータの歴史、ノイマン方式について学ぶ 教員から提示された学習項目を教科書で予習し、併せてノイマン方式について予習すること コンピュータはどのように進歩したのかバジの解析機からスマホまで技術の変遷を復習する
6回	学習内容 予習 復習	コンピュータの5大機能、コンピュータやメモリの仕組みや役割について学ぶ 教員から提示された学習項目を教科書で予習し、併せて命令の取り出し実行までの流れを予習 コンピュータの仕組みやプログラムの実行・処理を復習する。
7回	学習内容 予習 復習	コンピュータの内部処理、ソフトウェア体系、基本ソフト(OS)の役割等について学ぶ 教員から提示された学習項目を教科書で予習し、ソフトウェアの体系について予習する 基本ソフト(OS)の役割について復習し、ハードとソフトの構成やコンピュータの性能の違いを復習
8回	学習内容 予習 復習	命令と処理システム、プログラム言語、アセンブラ等について学ぶ 教員から提示された学習項目を教科書で予習し、言語プロセッサの種類について予習する 高水準言語、低水準言語、アセンブラ、機械語及びインタープリタやコンパイラについて復習
9回	学習内容 予習 復習	コンピュータと情報システム、集中処理と並列処理、情報システムと安全等について学ぶ 教員から提示された学習項目を教科書で予習し、デュアルシステム、デュプレックスシステムを予習 ネットワークの進展と分散処理の進化について、併せてクラウドコンピューティングの利点を復習する
10回	学習内容 予習 復習	情報ネットワークの仕組み、インターネットの基本プロトコル、パケット通信、IPアドレス等について学ぶ 教員から提示された学習項目を教科書で予習し、蓄積交換方式、回線交換方式について予習 パケット通信方式について復習し、利点、欠点について復習する
11回	学習内容 予習 復習	インターネットの仕組み、DNS・IPアドレス・ポート番号等の役割 教員から提示された学習項目を教科書で予習し、併せてIPアドレスやDNSの役割を予習すること グローバルアドレス、プライベートアドレスの仕組み、NATについて復習すること
12回	学習内容 予習 復習	WANとLAN、ルータの役割、経路情報の仕組み等について学ぶ 教員から提示された学習項目を教科書で予習し、LANを構成する機器について予習すること LAN間通信のしくみ、MACアドレス、ARP等のしくみについて復習すること
13回	学習内容 予習 復習	情報セキュリティ、情報資産、マルウェアの特徴、セキュリティポリシー等について学ぶ 教員から提示された学習項目を教科書で予習し、情報セキュリティの3要素について予習すること 情報セキュリティとリスク管理、リスク軽減の各種方策について復習すること
14回	学習内容 予習 復習	情報ネットワークの安全対策、暗号化、複合化、ファイヤーウォール等について学ぶ 教員から提示された学習項目を教科書で予習し、マルウェアの種類や暗号化について予習する 暗号化、複合化、共通鍵方式、SSL方式等について復習すること
15回	学習内容 予習 復習	個人情報や著作権、情報関連の法律について学ぶ 教員から提示された学習項目を教科書で予習し、情報関連の法律をインターネットで検索し予習 個人情報や著作権、情報関連の法律について総合的に復習すること

科目名	ビジネス情報学			科目コード	24020		
英文名	Information Systems in Business			科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(必修)		
担当教員	大屋 伸彦		教員コード	161	単位数	2単位	
開講期間	後期	曜日・時限	水曜日・1時限		授業形態	講義	
学位授与方針との対応	◎	1.大学生としての幅広い教養を身につける		○	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	○	3.論理的・批判的なものの見方を養う			4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	○	5.学習の過程で発見した課題を探索する		○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	本講義は変化の激しい情報化社会に対応するために必要な情報リテラシーとデータサイエンスの基礎を身につけることを目的とする。						
授業の狙い・到達目標	ビッグデータとは何かを理解し、ビジネスにおけるデータ利活用の意義を説明できるようになること。 AI・データサイエンスがビジネスにどのように役立つのかを説明できるようになること。						
授業内容のレベル・関連科目	前提知識は必須ではないが、併せてベンチャービジネス論、経営管理論を履修することが望ましい。						
授業外学習(予習・復習)	復習を重視する。 不明な点や疑問点があれば次講義までに解決しておくこと。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間		
使用教科書	教員が資料を配布する予定。						
参考書・その他教材	講義内で必要となった場合に指示する。						
課題に対するフィードバック	課題に対しては最終講義にフィードバックを行う。						
成績評価方法	期末試験(40%)、授業内レポート(20%)、課題演習(20%)、授業への貢献度(20%)						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	「単位を取る」が目標ではなく、学んだことを社会に出たときに活かすことができるよう、主体性をもって取り組むことが求められる。						
科目に関連した教員の実務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	メールでの質問(ohya@aikoku-u.org)またはオフィシアワー(初回講義時にアナウンスする)。メールでの問合せは、件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。						

## 授業スケジュール

ビジネス情報学

1回	学習内容 予習 復習	イントロダクション(講義の進め方)、社会で起きている変化 シラバスを読んでおくこと 講義の目的を理解しておくこと
2回	学習内容 予習 復習	社会で活用されているデータ 世の中にあるデータにはどんなものがあるのか考えておくこと なぜ情報が必要なのか理解しておくこと
3回	学習内容 予習 復習	データとAIの活用領域①マーケティング マーケティングにおけるデータ活用の事例を調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
4回	学習内容 予習 復習	データとAIの活用領域②製造業等 社会で活用されているIoTについて調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
5回	学習内容 予習 復習	データ・AI活用のための技術①予測と分類 データサイエンスにおける予測と分類の意味を調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
6回	学習内容 予習 復習	データ・AI活用のための技術②非構造化データ処理 構造化データと非構造化データの違いについて調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
7回	学習内容 予習 復習	データ・AI活用の現場 DX(デジタルトランスフォーメーション)について調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
8回	学習内容 予習 復習	データ・AI活用の最新動向①機械翻訳 機械翻訳について調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
9回	学習内容 予習 復習	データ・AI活用の最新動向②機械学習 機械学習について調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
10回	学習内容 予習 復習	演習①データを読む エクセル操作を確認しておくこと 演習での不明な点は次の演習までに解決しておくこと
11回	学習内容 予習 復習	演習②データを説明する エクセル操作を確認しておくこと 演習での不明な点は次の演習までに解決しておくこと
12回	学習内容 予習 復習	演習③データを扱う エクセル操作を確認しておくこと 演習での不明な点は次の演習までに解決しておくこと
13回	学習内容 予習 復習	データ・AIを扱う上での留意事項 個人情報保護、AI倫理について調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
14回	学習内容 予習 復習	データを守る上での留意事項 情報セキュリティについて調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
15回	学習内容 予習 復習	全体のまとめ 1回から14回までの授業内容を復習しておくこと 全15回の授業内容を振り返って理解を深めておくこと

科目名	プログラミング基礎			科目コード	24030		
英文名	Basic Programming			科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(選択)		
担当教員	日坂 彰		教員コード	137	単位数	2単位	
開講期間	後期	曜日・時限	木曜日・3時限	授業形態	講義		
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける	<input type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する			
	<input checked="" type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う	<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する			
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探索する	<input type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う			
授業概要	本講義では普及度や実用性の高いプログラミング言語を用いて、プログラミングの基本的な構文と動作に関する演習を行う。						
授業の狙い・到達目標	課題に対してプログラミングで可能な解決策を模索し、論理的思考力が向上する。 個人が低コストでアプリを開発できることを認識し、公開、奉仕、職業につながる可能性を探る。 プログラミングやアルゴリズムの基礎知識と技能を習得し、実際にプログラムの作成と実行ができる。						
授業内容のレベル・関連科目	プログラミングの基礎、C#言語の基礎/「情報科学概論」「情報資格演習」「情報システム論」						
授業外学習(予習・復習)	予習は資料を読み、用語を辞典、事典で調べておくこと。 復習は学習内容を定着させ、未理解事項を残さないこと。 各回に特化した予習、復習は授業スケジュールを参照のこと。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間		
使用教科書	WINGSプロジェクト 高江賢「基礎からしっかり学ぶC#の教科書 第3版 C#10対応 構文とサンプルコードでC#が学べる入門書 改訂新版」日経BP						
参考書・その他教材	プログラミング書籍全般、C#言語関連書籍						
課題に対するフィードバック	各段階毎に成果物を点検、フィードバックを行う。						
成績評価方法	成果物(70%)、授業への貢献度(30%)で総合的に評価する。						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを、本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	本授業での指定教科書の値段は、本学内指定教科書の平均水準より高いと思われるため、履修にあたっては相応の覚悟をもって臨むこと。プログラミング技術に関心があり、その能力を向上させたい者は、各プログラミング言語の専門書や関連書を読むことを推奨する。						
科目に関連した教員の実務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	本学 Google Workspace for Education Gmail:anissaka@aikoku-u.org						

### 授業スケジュール

### プログラミング基礎

1回	学習内容 予習 復習	プログラミング概論 シラバスを熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 プログラミング概論に関する指定課題を解くこと。
2回	学習内容 予習 復習	プログラムの作成と実行 プログラムの作成と実行の指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 プログラムの作成と実行に関する指定課題を解くこと。
3回	学習内容 予習 復習	変数 変数の指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 変数に関する指定課題を解くこと。
4回	学習内容 予習 復習	演算と型、数値計算 演算と型、数値計算の指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 演算と型、数値計算に関する指定課題を解くこと。
5回	学習内容 予習 復習	プログラムの流れの分岐 プログラムの流れの分岐の指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 プログラムの流れの分岐に関する指定課題を解くこと。
6回	学習内容 予習 復習	プログラムの流れの繰り返し プログラムの流れの繰り返しの指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 プログラムの流れの繰り返しに関する指定課題を解くこと。
7回	学習内容 予習 復習	配列 配列の指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 配列に関する指定課題を解くこと。
8回	学習内容 予習 復習	関数 関数の指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 関数に関する指定課題を解くこと。
9回	学習内容 予習 復習	基本型 基本型の指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 基本型に関する指定課題を解くこと。
10回	学習内容 予習 復習	ソートとサーチ ソートとサーチの指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 ソートとサーチに関する指定課題を解くこと。
11回	学習内容 予習 復習	再帰 再帰の指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 再帰に関する指定課題を解くこと。
12回	学習内容 予習 復習	データ構造 データ構造の指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 データ構造に関する指定課題を解くこと。
13回	学習内容 予習 復習	木、グラフ 木、グラフの指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 木、グラフに関する指定課題を解くこと。
14回	学習内容 予習 復習	文字と文字列 文字と文字列の指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 文字と文字列に関する指定課題を解くこと。
15回	学習内容 予習 復習	ファイル処理 ファイル処理の指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 ファイル処理に関する指定課題を解くこと。

科目名	プログラミング応用 (情報システム論)			科目コード	24040		
英文名	Advanced Programming Information System			科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(選択)		
担当教員	大屋 伸彦		教員コード	161	単位数	2単位	
開講期間	前期	曜日・時限	月曜日・1時限	授業形態	講義		
学位授与方針との対応	○	1.大学生としての幅広い教養を身につける	◎	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する			
		3.論理的・批判的なものの見方を養う		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する			
	○	5.学習の過程で発見した課題を探究する	○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う			
授業概要	レスポンスブルなWEBページを作成する。 JavaScript/jQueryを使って簡単なゲームを作成する。						
授業の狙い・到達目標	自身の手で作成することにより、プログラム言語をより身近に感じ、理解を深めることができる。 簡単なゲームを作成することができるようになる。						
授業内容のレベル・関連科目	HTML/CSSの知識が前提となるため、プログラミング基礎、WEBデザイン演習を履修することが望ましい。						
授業外学習(予習・復習)	特に復習を重視する。PCの扱いに慣れておくこと。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計60時間		
使用教科書	資料を配布する予定。						
参考書・その他教材	HTMLやCSSの入門本を読んでおくことを推奨する。						
課題に対するフィードバック	演習に対するフィードバックを講義内で行う。						
成績評価方法	演習課題(40%)、講義内演習(30%)、講義への取り組み(30%)						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	作成したプログラムを保存するためにUSBメモリを持参すること。 演習を行うため、Googleアカウントの操作は必須。 演習の進捗によっては内容を変更する場合がある。						
科目に関連した教員の業務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	メールでの質問(ohya@aikoku-u.org)またはオフィシアワー(初回講義時にアナウンスする)。メールでの問合せは、件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。						

### 授業スケジュール

プログラミング応用 (情報システム論)

1回	学習内容 予習 復習	イントロダクション(講義の進め方、PC操作の確認等) シラバスを読んでおくこと 講義の目的を理解しておくこと
2回	学習内容 予習 復習	HTML,CSSの復習 WEBページ基本 HTML,CSSの各言語についての基本タグを調べておくこと。 簡単なWEBページを作れるようになること。
3回	学習内容 予習 復習	レスポンスブルデザインレイアウト/デベロッパーツールの説明 WEBページの構造を思い出しておくこと。 レスポンスブルデザインの確認を行っておくこと。
4回	学習内容 予習 復習	レスポンスブルデザインレイアウトのカスタマイズ WEBページの構造を思い出しておくこと。 レスポンスブルデザインの確認を行っておくこと。
5回	学習内容 予習 復習	JavaScript ゲーム1(作成) HTML,CSSを問題なく扱えるようにしておくこと。 JavaScriptの基本概念を覚えること。
6回	学習内容 予習 復習	JavaScript ゲーム1(作成) HTML,CSSを問題なく扱えるようにしておくこと。 JavaScriptの基本概念を覚えること。
7回	学習内容 予習 復習	JavaScript ゲーム1(カスタマイズ) JavaScriptの動きを把握しておくこと。 変更したことによってどのようにページが変わるのかを理解すること。
8回	学習内容 予習 復習	JavaScript ゲーム2(作成) HTML,CSSを問題なく扱えるようにしておくこと。 JavaScriptの基本概念を覚えること。
9回	学習内容 予習 復習	JavaScript ゲーム2(作成) HTML,CSSを問題なく扱えるようにしておくこと。 JavaScriptの基本概念を覚えること。
10回	学習内容 予習 復習	JavaScript ゲーム2(カスタマイズ) JavaScriptの動きを把握しておくこと。 変更したことによってどのようにページが変わるのかを理解すること。
11回	学習内容 予習 復習	JavaScript/jQuery ゲーム3(作成) HTML,CSSを問題なく扱えるようにしておくこと。 JavaScript/jQueryの基本概念を覚えること。
12回	学習内容 予習 復習	JavaScript/jQuery ゲーム3(作成) HTML,CSSを問題なく扱えるようにしておくこと。 JavaScript/jQueryの基本概念を覚えること。
13回	学習内容 予習 復習	JavaScript/jQuery ゲーム3(作成) HTML,CSSを問題なく扱えるようにしておくこと。 JavaScript/jQueryの基本概念を覚えること。
14回	学習内容 予習 復習	JavaScript/jQuery ゲーム3(カスタマイズ) JavaScriptの動きを把握しておくこと。 変更したことによってどのようにページが変わるのかを理解すること。
15回	学習内容 予習 復習	JavaScript/jQuery ゲーム3(アプリへの応用) これまでの講義で不明な点を確認しておくこと。 アルゴリズムを理解すること。

科目名	情報資格演習（情報資格対策演習）			科目コード	24050	
英文名	Practice for Information Qualification			科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(必修)	
担当教員	日坂 彰		教員コード	137	単位数	2単位
開講期間	後期	曜日・時限	金曜日・1時限	授業形態	演習	
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける		<input checked="" type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う		<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探索する		<input type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	ITパスポートとは社会人・学生が備えておくべき情報技術に関する基礎的な知識を証明する国家資格であり、同試験に合格できる水準の到達を目指す。					
授業の狙い・到達目標	ITパスポート試験に合格できる水準に到達できる。同時に、更に上位の情報処理技術者試験(基本情報技術者試験など)に合格するために必要な基礎事項を習得できる。					
授業内容のレベル・関連科目	ITSS(ITスキル標準)のレベル1、国際情報ビジネスコース及びビジネス専攻の経営、会計、情報全分野の科目が関連する					
授業外学習(予習・復習)	予習は資料を読み、用語を辞典、事典で調べておくこと。復習は学習内容を定着させ、未理解事項を残さないこと。各回に特化した予習、復習は授業スケジュールを参照のこと。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計60時間	
使用教科書	富士通エフ・オー・エム株式会社「ITパスポート試験対策テキスト&過去問題集(よくわかるマスター)」FOM出版 ※最新版を入手すること					
参考書・その他教材	経営、会計、情報全分野の基本書全般					
課題に対するフィードバック	分野別スコアの記録によって、得意分野と苦手分野のフィードバックを行う。					
成績評価方法	問題演習(70%)、授業への貢献度(30%)で総合的に評価する。					
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	使用教科書は試験対策書である性格上、毎年異なる版が出版されるため、過年度の中古書は避けること。					
科目に関連した教員の実務経験	特になし					
担当教員への連絡方法	本学 Google Workspace for Education Gmail:anissaka@aikoku-u.org					

授業スケジュール 情報資格演習（情報資格対策演習）

1回	学習内容 予習 復習	資格試験の概要、傾向と対策 — ITパスポート試験の概要、傾向と対策、学習方法ノウハウ 教科書の「試験の概要」を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 ITパスポート試験を受ける計画(学習計画、受験時期等)を立てること。
2回	学習内容 予習 復習	ストラテジ系(1) 企業と法務 教科書の第1章を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の該当章末「予想問題」を解いて、正答率が80%以上となるまで繰り返すこと。
3回	学習内容 予習 復習	ストラテジ系(2) 経営戦略 教科書の第2章を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の該当章末「予想問題」を解いて、正答率が80%以上となるまで繰り返すこと。
4回	学習内容 予習 復習	ストラテジ系(3) システム戦略 教科書の第3章を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の該当章末「予想問題」を解いて、正答率が80%以上となるまで繰り返すこと。
5回	学習内容 予習 復習	ストラテジ系総合演習 教科書の第1章から第3章までの復習を行い、同分野での未理解事項を残さないこと。 過去問題プログラムのストラテジ系において、正答率が80%以上となるまで繰り返すこと。
6回	学習内容 予習 復習	マネジメント系(1) 開発技術 教科書の第4章を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の該当章末「予想問題」を解いて、正答率が80%以上となるまで繰り返すこと。
7回	学習内容 予習 復習	マネジメント系(2) プロジェクトマネジメント 教科書の第5章を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の該当章末「予想問題」を解いて、正答率が80%以上となるまで繰り返すこと。
8回	学習内容 予習 復習	マネジメント系(3) サービスマネジメント 教科書の第6章を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の該当章末「予想問題」を解いて、正答率が80%以上となるまで繰り返すこと。
9回	学習内容 予習 復習	マネジメント系総合演習 教科書の第4章から第6章までの復習を行い、同分野での未理解事項を残さないこと。 過去問題プログラムのマネジメント系において、正答率が80%以上となるまで繰り返すこと。
10回	学習内容 予習 復習	テクノロジー系(1) 基礎理論 教科書の第7章を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の該当章末「予想問題」を解いて、正答率が80%以上となるまで繰り返すこと。
11回	学習内容 予習 復習	テクノロジー系(2) コンピュータシステム 教科書の第8章を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の該当章末「予想問題」を解いて、正答率が80%以上となるまで繰り返すこと。
12回	学習内容 予習 復習	テクノロジー系(3) 技術要素 教科書の第9章を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の該当章末「予想問題」を解いて、正答率が80%以上となるまで繰り返すこと。
13回	学習内容 予習 復習	テクノロジー系(4) 表計算 教科書の第10章を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の該当章末「予想問題」を解いて、正答率が80%以上となるまで繰り返すこと。
14回	学習内容 予習 復習	テクノロジー系総合演習 教科書の第7章から第10章までの復習を行い、同分野での未理解事項を残さないこと。 過去問題プログラムのテクノロジー系において、正答率が80%以上となるまで繰り返すこと。
15回	学習内容 予習 復習	全体総合演習 教科書の第1章から第10章までの復習を行い、未理解事項を残さないこと。 過去問題プログラム(全体)において、正答率が80%以上となるまで繰り返すこと。

科目名	WEBデザイン演習				科目コード	24060	
英文名	Practice of Website Design				科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(選択)	
担当教員	日坂 彰		教員コード	137	単位数	2単位	
開講期間	前期	曜日・時限	月曜日・4時限		授業形態	演習	
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける		<input checked="" type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う		<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探求する		<input type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	Webサイト(ホームページ)、電子商取引サイトおよびブログなどの基盤技術であるHTMLやCSSを習得し、それらの技術を用いてWebページを作成する演習である。						
授業の狙い・到達目標	HTMLを用いて基本的なWebページ(ホームページ)を作成できる。 基本的なWebデザインを、Webページ(ホームページ)に反映できる。 コンテンツの構成要素となる各種ファイル形式と特徴を理解できる。						
授業内容のレベル・関連科目	Webデザインの基礎/「情報科学概論」						
授業外学習(予習・復習)	予習は資料を読み、用語を辞典、事典で調べておくこと。 復習は学習内容を定着させ、未理解事項を残さないこと。 各回に特化した予習、復習は授業スケジュールを参照のこと。				授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間	
使用教科書	実教出版編修部「30時間でマスター インターネットⅢ HTMLでつくるWebページ」実教出版						
参考書・その他教材	授業内で適宜紹介する。						
課題に対するフィードバック	各段階毎に成果物を点検、フィードバックを行う。						
成績評価方法	成果物(設計書等)(70%)、授業への貢献度(30%)で総合的に評価する。						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを、本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	本授業は受講人数に上限を設け、受講制限を行う場合がある。本演習の各回は、それ以前の習得内容を前提としている。携帯電話の使用厳禁。遅刻厳禁。						
科目に関連した教員の実務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	本学 Google Workspace for Education Gmail:anissaka@aikoku-u.org						

### 授業スケジュール

### WEBデザイン演習

1回	学習内容 予習 復習	インターネットとWebページ — インターネットとWebページのしくみ シラバスを熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 普段どれだけインターネットやWebページを利用しているかをまとめること。
2回	学習内容 予習 復習	Webページ作成技術(1) — HTMLの基礎、ファイル形式、拡張子 HTMLの基礎等の指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 自分が日常的に使うファイルのファイル形式について調査し、まとめること。
3回	学習内容 予習 復習	Webページ作成技術(2) — 作成ソフトの利用方法、テキストエディタ テキストエディタの指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 テキストエディタ(メモ帳)の基本的な使い方を習得すること。
4回	学習内容 予習 復習	Webページ作成技術(3) — 基本的なHTMLタグ 基本的なHTMLタグの指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 基本的なHTMLタグに関する指定の応用課題を解くこと。
5回	学習内容 予習 復習	Webページ作成技術(4) — ハイパーリンク ハイパーリンクの指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 ハイパーリンクに関する指定の応用課題を解くこと。
6回	学習内容 予習 復習	Webページ作成技術(5) — イメージの表示、イメージファイル形式 イメージファイルの指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 イメージの表示に関する指定の応用課題を解くこと。
7回	学習内容 予習 復習	Webページ作成技術(6) — リスト リストの指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 リストに関する指定の応用課題を解くこと。
8回	学習内容 予習 復習	Webページ作成技術(7) — テーブル(表) テーブルの指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 テーブルに関する指定の応用課題を解くこと。
9回	学習内容 予習 復習	Webデザイン(1) — スタイルシート、CSSの基礎 CSSの基礎の指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 指定数以上のWebサイトを閲覧し、どのようにCSSが使われているかを調査すること。
10回	学習内容 予習 復習	Webデザイン(2) — 色の基礎、配色 色の基礎、配色の指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 指定数以上のWebサイトを閲覧し、色の基礎、配色の観点から評価すること。
11回	学習内容 予習 復習	Webデザイン(3) — デザインの基礎 デザインの基礎の指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 指定数以上のWebサイトを閲覧し、デザインの基礎の観点から評価すること。
12回	学習内容 予習 復習	Webサイト設計演習(1) — 設計-サイトマップとページレイアウト どのようなWebサイトを作成したいかの基本構想を練ってくること。 サイトマップとページレイアウトを作成すること。
13回	学習内容 予習 復習	Webサイト設計演習(2) — 制作 サイトマップとページレイアウトを作成すること。 サイトマップとページレイアウトを作成すること。
14回	学習内容 予習 復習	Webサイト設計演習(3) — 修正 サイトマップとページレイアウトを作成すること。 フィードバックへの対応
15回	学習内容 予習 復習	Webサイト設計演習(4) — 評価 サイトマップとページレイアウトを作成すること。 フィードバックへの対応

科目名	セキュリティ概論（情報管理・セキュリティ概論）				科目コード	24070	
英文名	Outline of Information Security (Outline of Information Management and Security)				科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻（選択）	
担当教員	日坂 彰		教員コード	137	単位数	2単位	
開講期間	後期	曜日・時限	月曜日・4時限		授業形態	講義	
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける		<input type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う		<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探索する		<input checked="" type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	情報システムやインターネットの利便性が高まる一方で、様々なセキュリティリスクが伴う現実に対し、情報セキュリティの基本的知識と対策の必要性を講ずる。						
授業の狙い・到達目標	ICTデバイス、情報システムやインターネット利用時の情報セキュリティ対策を実施できる。知的財産権など無形資産に対する理解を深め、「知価社会」に順応できる。情報管理の基礎を理解し、メディアリテラシーが向上する。						
授業内容のレベル・関連科目	情報セキュリティの基礎／「情報科学概論」「情報資格演習」						
授業外学習（予習・復習）	予習は資料を読み、用語を辞典、事典で調べておくこと。復習は学習内容を定着させ、未理解事項を残さないこと。各回に特化した予習、復習は授業スケジュールを参照のこと。				授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計60時間	
使用教科書	情報処理推進機構（IPA）編著「情報セキュリティ読本 六訂版」実教出版						
参考書・その他教材	授業内で適宜紹介する。						
課題に対するフィードバック	課題毎に点検、フィードバックを行う。						
成績評価方法	定期試験（70%）、授業への貢献度（30%）で総合的に評価する。						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを、本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	携帯電話の使用厳禁。遅刻厳禁。						
科目に関連した教員の実務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	本学 Google Workspace for Education Gmail:anissaka@aikoku-u.org						

### 授業スケジュール

### セキュリティ概論（情報管理・セキュリティ概論）

1回	学習内容 予習 復習	情報セキュリティ — 情報セキュリティの基本概念、情報資産とリスク 教科書第2章の指定範囲を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 自分や所属する組織の情報資産とリスクは何かをまとめること。
2回	学習内容 予習 復習	情報倫理 — インターネット利用（Web、電子メール、ブログ、SNS）のマナーとモラル 教科書第2章の指定範囲を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 インターネット利用時のマナーとモラルに照らし合わせて自分の行動を点検すること。
3回	学習内容 予習 復習	セキュリティリスク (1) — 最新動向 教科書第1章の指定範囲を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 セキュリティリスクの最新動向に照らし合わせて自分の行動を点検すること。
4回	学習内容 予習 復習	セキュリティリスク (2) — 内部のリスク要因、外部のリスク要因 教科書第2章の指定範囲を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 内部のリスク要因、外部のリスク要因に照らし合わせて自分の行動を点検すること。
5回	学習内容 予習 復習	セキュリティリスク (3) — マルウェア 教科書第3章の指定範囲を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 マルウェア対策に照らし合わせて自分の行動を点検すること。
6回	学習内容 予習 復習	セキュリティリスク (4) — 不正攻撃 教科書第3章の指定範囲を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 不正攻撃対策に照らし合わせて自分の行動を点検すること。
7回	学習内容 予習 復習	セキュリティ対策 (1) — 個人的共通対策 (1) 教科書第3章の指定範囲を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 自分及び周囲（管理権限を持つ範囲）のICT環境について個人的共通対策を実践すること。
8回	学習内容 予習 復習	セキュリティ対策 (2) — 個人的共通対策 (2) 教科書第3章の指定範囲を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 自分及び周囲（管理権限を持つ範囲）のICT環境について個人的共通対策を実践すること。
9回	学習内容 予習 復習	セキュリティ技術 (1) — ファイアウォール 教科書第5章の指定範囲を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 自分の周囲でファイアウォール技術が使われている所を考察すること。
10回	学習内容 予習 復習	セキュリティ技術 (2) — 暗号 教科書第5章の指定範囲を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 自分の周囲で暗号技術が使われている所を考察すること。
11回	学習内容 予習 復習	セキュリティ技術 (3) — 認証 教科書第5章の指定範囲を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 自分の周囲で認証技術が使われている所を考察すること。
12回	学習内容 予習 復習	情報セキュリティポリシーとISMS 教科書第4章の指定範囲を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 「情報セキュリティポリシーとISMS」について振り返り、まとめること。
13回	学習内容 予習 復習	国際標準・国内標準と関連法規 — ISO/IEC 27000シリーズとJIS、ISO/IEC 15408とJIS 教科書第6章の指定範囲を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 「国際標準・国内標準と関連法規」について振り返り、まとめること。
14回	学習内容 予習 復習	知的財産権 — 著作権（法）、特許権、実用新案権、意匠権、商標権、不正競争防止法 教科書第6章の指定範囲を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 「知的財産権」について振り返り、まとめること。
15回	学習内容 予習 復習	個人情報とプライバシー — 個人情報保護法、プライバシー、マイナンバー 教科書第6章の指定範囲を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 自分の個人情報管理やマイナンバー管理について点検すること。

科目名	情報数学			科目コード	24080		
英文名	Information Mathematics			科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(選択)		
担当教員	日坂 彰		教員コード	137	単位数	2単位	
開講期間	前期	曜日・時限	木曜日・5時限		授業形態	講義	
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける		<input type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input checked="" type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う		<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探求する		<input type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	情報科学の基礎である数学を学ぶ。この講義は、(1)日常生活との密接な関係、(2)ICT(情報通信技術)に関連する職業に必要な知識、(3)情報処理系資格試験への合格の3点を強く意識した内容とする。						
授業の狙い・到達目標	情報科学の基礎である数学を習得し、実際に計算ができる。それにより、日常生活およびICT(情報通信技術)に関連する職業への活用ができる。また、各種情報処理技術者試験に合格するための基礎を得ることができる。						
授業内容のレベル・関連科目	情報数学の基礎 / 「情報科学概論」「情報資格演習」						
授業外学習(予習・復習)	予習は資料を読み、用語を辞典、事典で調べておくこと。復習は学習内容を定着させ、未理解事項を残さないこと。各回に特化した予習、復習は授業スケジュールを参照のこと。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計60時間		
使用教科書	石原光・小堆光喜(共著)、野々山隆幸(監修)「入門 情報処理数学」実教出版						
参考書・その他教材	授業内で適宜紹介する。						
課題に対するフィードバック	課題毎に点検、フィードバックを行う。						
成績評価方法	定期試験(70%)、授業への貢献度(30%)で総合的に評価する。						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを、本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	携帯電話の使用厳禁。遅刻厳禁。						
科目に関連した教員の業務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	本学 Google Workspace for Education Gmail:anissaka@aikoku-u.org						

### 授業スケジュール

情報数学

1回	学習内容 予習 復習	離散数学と情報量の基礎 シラバスを熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 配布資料の問題を解くこと。
2回	学習内容 予習 復習	記数法と基数変換 教科書の「1.1記数法」を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の「1.1記数法」から指定する問題を解くこと。
3回	学習内容 予習 復習	式と計算 教科書の「1.2式と計算」を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の「1.2式と計算」から指定する問題を解くこと。
4回	学習内容 予習 復習	集合 教科書の「2.1集合」を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の「2.1集合」から指定する問題を解くこと。
5回	学習内容 予習 復習	論理 教科書の「2.2論理」を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の「2.2論理」から指定する問題を解くこと。
6回	学習内容 予習 復習	関数(1) 教科書の「3関数」の指定範囲を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の「3関数」から指定する問題を解くこと。
7回	学習内容 予習 復習	関数(2) 教科書の「3関数」の指定範囲を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の「3関数」から指定する問題を解くこと。
8回	学習内容 予習 復習	ベクトル 教科書の「4.1ベクトル」を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の「4.1ベクトル」から指定する問題を解くこと。
9回	学習内容 予習 復習	行列 教科書の「4.3行列」を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の「4.3行列」から指定する問題を解くこと。
10回	学習内容 予習 復習	数列 教科書の「5数列」を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の「5数列」から指定する問題を解くこと。
11回	学習内容 予習 復習	微分法 教科書の「6.1微分法」を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の「6.1微分法」から指定する問題を解くこと。
12回	学習内容 予習 復習	積分法 教科書の「6.2積分法」を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の「6.2積分法」から指定する問題を解くこと。
13回	学習内容 予習 復習	確率と統計(1) 教科書の「7確率と統計」の指定範囲を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の「7確率と統計」から指定する問題を解くこと。
14回	学習内容 予習 復習	確率と統計(2) 教科書の「7確率と統計」の指定範囲を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の「7確率と統計」から指定する問題を解くこと。
15回	学習内容 予習 復習	確率と統計(3) 教科書の「7確率と統計」の指定範囲を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の「7確率と統計」から指定する問題を解くこと。



科目名	データベース演習			科目コード	24090		
英文名	Practice of Database Processing			科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(選択)		
担当教員	大屋 伸彦		教員コード	161	単位数	2単位	
開講期間	前期	曜日・時限	火曜日・1時限		授業形態	演習	
学位授与方針との対応	○	1.大学生としての幅広い教養を身につける		○	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
		3.論理的・批判的なものの見方を養う			4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
		5.学習の過程で発見した課題を探求する		◎	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	データベースの概要を理解する。 リレーショナルデータベースの構造を理解する。						
授業の狙い・到達目標	テーブル、リレーションシップ、クエリ、フォーム、レポートの理解と作成を通して、データベースソフトであるAccessを利用できるようになる。						
授業内容のレベル・関連科目	Excelの知識を前提としているため、表計算演習を履修していることが必須。						
授業外学習(予習・復習)	PCの操作に慣れておくこと。				授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計60時間	
使用教科書	必要な資料は配布する予定。						
参考書・その他教材	Accessの入門書を読んでおくことを推奨する。						
課題に対するフィードバック	最終講義にフィードバックを行う。						
成績評価方法	総合演習(70%)、講義内の演習への取り組み(30%)						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	基本的なPC操作はできるものとしてうえで講義をすすめる。 演習を行うため、Googleアカウントの操作は必須。						
科目に関連した教員の実務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	メールでの質問(ohya@aikoku-u.org)またはオフィシアワー(初回講義時にアナウンスする)。メールでの問合せは、件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。						

### 授業スケジュール

### データベース演習

1回	学習内容 予習 復習	イントロダクション、PC操作の確認(ファイルの保存、Accessの操作など) データベースとはどのようなものかを考えておくこと PCの操作を確認しておくこと
2回	学習内容 予習 復習	データベースの作成と設計 PCの操作を確認しておくこと データベースオブジェクトについて理解しておくこと
3回	学習内容 予習 復習	テーブルの作成 Accessの画面構成を理解しておくこと テーブルの概要を理解し問題なく作成できるようにしておくこと
4回	学習内容 予習 復習	リレーションシップの設定 前回作成したものを確認しておくこと リレーションシップの概要を理解しておくこと
5回	学習内容 予習 復習	クエリの作成(1) クエリでどんなことができるかを考えておくこと 作成できなかったことを進めておくこと
6回	学習内容 予習 復習	クエリの作成(2) 前回作成したものを確認しておくこと 作成できなかったことを進めておくこと
7回	学習内容 予習 復習	フォームの作成(1) 前回作成したものを確認しておくこと 作成できなかったことを進めておくこと
8回	学習内容 予習 復習	フォームの作成(2) 前回作成したものを確認しておくこと 作成できなかったことを進めておくこと
9回	学習内容 予習 復習	クエリの作成(3) 前回作成したものを確認しておくこと 作成できなかったことを進めておくこと
10回	学習内容 予習 復習	クエリの作成(4) 前回作成したものを確認しておくこと 作成できなかったことを進めておくこと
11回	学習内容 予習 復習	レポートの作成(1) 前回作成したものを確認しておくこと 作成できなかったことを進めておくこと
12回	学習内容 予習 復習	レポートの作成(2) 前回作成したものを確認しておくこと 作成できなかったことを進めておくこと
13回	学習内容 予習 復習	総合演習(1) いままでの操作での疑問点は解消させておくこと 演習でできなかったことを進めておくこと
14回	学習内容 予習 復習	総合演習(2) いままでの操作での疑問点は解消させておくこと 演習でできなかったことを進めておくこと
15回	学習内容 予習 復習	演習のフィードバック、これまでの講義の復習 演習でできなかったことを進めておくこと Access全般の操作をできるようにすること

科目名	画像処理演習			科目コード	24100	
英文名	Practice of Graphic Processing			科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(必修)	
担当教員	中野 慶昭	教員コード	163	単位数	2単位	
開講期間	後期	曜日・時限	火曜日・4時限	授業形態	講義	
学位授与方針との対応	○	1.大学生としての幅広い教養を身につける	◎	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
		3.論理的・批判的なものの見方を養う		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
		5.学習の過程で発見した課題を探求する	○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	画像処理技術の仕組みを学ぶとともに、画像編集ソフト(PhotoShop)を使用して、画像修正の基本操作を学ぶ。					
授業の狙い・到達目標	本演習の到達目標を、以下の3点とする。 ①画像処理の仕組みについて学ぶ ②画像編集ソフト(PhotoShop)の基本操作を身につける ③WordやExcel、PowerPointにて編集画像の利用方法を身につける					
授業内容のレベル・関連科目	画像編集ソフトを初めて利用する者を対象としており、基礎的なレベルである。					
授業外学習(予習・復習)	授業の際に配付する資料に基づき予習・復習を行う。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計60時間	
使用教科書	特になし					
参考書・その他教材	特になし					
課題に対するフィードバック	演習中、課題演習の出来具合を確認し、直接フィードバックする。					
成績評価方法	①期末演習試験(50%)、②演習課題(40%)、③平常点(10%)により評価する。					
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	授業後の振り返りを行うこと。実際にPhotoShopを利用した振り返りができればなおよい。					
科目に関連した教員の実務経験	特になし					
担当教員への連絡方法	質問はメールでも受け付ける。 件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。					

### 授業スケジュール

### 画像処理演習

1回	学習内容 予習 復習	<イントロダクション> 講義の概要と進め方を説明する シラバスを読んでおくこと 授業内容を振り返ること
2回	学習内容 予習 復習	<画像処理基礎> コンピュータ内における画像処理の仕組みを説明する 配布資料を読んでおくこと 授業内容を振り返ること
3回	学習内容 予習 復習	<PhotoShop実技演習①> 画像の取り込み 配布資料を読んでおくこと 授業内容を振り返ること
4回	学習内容 予習 復習	<PhotoShop実技演習②> 画像の修正 配布資料を読んでおくこと 授業内容を振り返ること
5回	学習内容 予習 復習	<PhotoShop実技演習③> 画像の補正 配布資料を読んでおくこと 授業内容を振り返ること
6回	学習内容 予習 復習	<PhotoShop実技演習④> 画像の合成 配布資料を読んでおくこと 授業内容を振り返ること
7回	学習内容 予習 復習	<前半のまとめ> 第2～6回の内容を振り返る 第2～6回の内容を復習してくる 授業内容を振り返ること
8回	学習内容 予習 復習	<PhotoShop実技演習⑤> レイヤー機能 配布資料を読んでおくこと 授業内容を振り返ること
9回	学習内容 予習 復習	<PhotoShop実技演習⑥> ベイント機能 配布資料を読んでおくこと 授業内容を振り返ること
10回	学習内容 予習 復習	<PhotoShop実技演習⑦> 文字の入力と編集 配布資料を読んでおくこと 授業内容を振り返ること
11回	学習内容 予習 復習	<ソフトウェアでの画像利用①> Wordでの画像利用 配布資料を読んでおくこと 授業内容を振り返ること
12回	学習内容 予習 復習	<ソフトウェアでの画像利用②> Excelでの画像利用 配布資料を読んでおくこと 授業内容を振り返ること
13回	学習内容 予習 復習	<ソフトウェアでの画像利用③> Power Pointでの画像利用 配布資料を読んでおくこと 授業内容を振り返ること
14回	学習内容 予習 復習	<後半のまとめ> 第8～13回まで内容を振り返りと最終課題の説明 第8～13回の内容を復習しておくこと 本日の授業内容を振り返る
15回	学習内容 予習 復習	<全体のまとめ> 最終課題の完成と提出 第7回、14回を中心に復習しておくこと 全15回の授業内容を振り返り、最終課題を提出する。

科目名	基礎統計学			科目コード	24110	
英文名	Basic Statistics			科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(選択)	
担当教員	大屋 伸彦		教員コード	161	単位数	2単位
開講期間	後期	曜日・時限	水曜日・2時限		授業形態	講義
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける	<input type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う	<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探索する	<input checked="" type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	学術分野だけでなく、ビジネスの現場においても統計学の重要性が増している。古典的な推測統計学の基礎を学ぶとともに、手法を使えるようにExcelを用いて記述統計学から初歩的な推測統計学を学ぶ。					
授業の狙い・到達目標	1)データの整理・要約方法を身につける。 2)データの要約やグラフからデータの傾向について考察できる。 3)基礎的な推測統計学が理解できる。					
授業内容のレベル・関連科目	Excelの基礎を身につけていることを前提とする。そのため表計算演習は履修しておくことが望ましい。					
授業外学習(予習・復習)	授業終了後、資料を再読すること。 統計学では数学を使用するが、ほとんどの場合高校までの数学で解くことが可能である。そのため、高校の数学をその都度復習すること。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間	
使用教科書	特に指定しない。					
参考書・その他教材	大村平「統計のはなし - 基礎・応用・娯楽 - 【改訂版】 日科技連出版社					
課題に対するフィードバック	授業内容を毎回ファイルとして保存し、そのファイルの作成程度及び筆記試験、授業への参加度を総合的に評価する。					
成績評価方法	演習課題(40%)、講義内演習(30%)、講義への取り組み(30%)					
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	統計の情報はインターネットで得ることが可能である。このような情報を予習、復習に活用すること。					
科目に関連した教員の業務経験	特になし					
担当教員への連絡方法	質問はメールでも受け付ける。(mail to: ohya@aikoku-u.org) 件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること					

### 授業スケジュール

基礎統計学

1回	学習内容 予習 復習	イントロダクション(講義概要)、統計とは シラバスを読んでおくこと。 資料を再読し、本日学習したことを確認し、できるようにしておくこと。
2回	学習内容 予習 復習	代表値とばらつき 前回の内容を復習し、今回対象となることについてネットなどで調べておくこと。 資料を再読し、本日学習したことを確認し、できるようにしておくこと。
3回	学習内容 予習 復習	ばらつきのスタイル 前回の内容を復習し、今回対象となることについてネットなどで調べておくこと。 資料を再読し、本日学習したことを確認し、できるようにしておくこと。
4回	学習内容 予習 復習	ばらつきの法則 前回の内容を復習し、今回対象となることについてネットなどで調べておくこと。 資料を再読し、本日学習したことを確認し、できるようにしておくこと。
5回	学習内容 予習 復習	標本から全体を推定する①正規分布がわかっている場合 前回の内容を復習し、今回対象となることについてネットなどで調べておくこと。 資料を再読し、本日学習したことを確認し、できるようにしておくこと。
6回	学習内容 予習 復習	標本から全体を推定する②正規分布がわからない場合 前回の内容を復習し、今回対象となることについてネットなどで調べておくこと。 資料を再読し、本日学習したことを確認し、できるようにしておくこと。
7回	学習内容 予習 復習	能力を判定する(検定のはなし) 前回の内容を復習し、今回対象となることについてネットなどで調べておくこと。 資料を再読し、本日学習したことを確認し、できるようにしておくこと。
8回	学習内容 予習 復習	実験データの統計 前回の内容を復習し、今回対象となることについてネットなどで調べておくこと。 資料を再読し、本日学習したことを確認し、できるようにしておくこと。
9回	学習内容 予習 復習	故障と寿命 前回の内容を復習し、今回対象となることについてネットなどで調べておくこと。 資料を再読し、本日学習したことを確認し、できるようにしておくこと。
10回	学習内容 予習 復習	騙されやすい統計 前回の内容を復習し、今回対象となることについてネットなどで調べておくこと。 資料を再読し、本日学習したことを確認し、できるようにしておくこと。
11回	学習内容 予習 復習	カイ二乗検定とF検定 前回の内容を復習し、今回対象となることについてネットなどで調べておくこと。 資料を再読し、本日学習したことを確認し、できるようにしておくこと。
12回	学習内容 予習 復習	演習①パチンコの統計 前回の内容を復習し、今回対象となることについてネットなどで調べておくこと。 資料を再読し、本日学習したことを確認し、できるようにしておくこと。
13回	学習内容 予習 復習	演習②野球の統計 前回の内容を復習し、今回対象となることについてネットなどで調べておくこと。 資料を再読し、本日学習したことを確認し、できるようにしておくこと。
14回	学習内容 予習 復習	演習③競馬の統計 前回の内容を復習し、今回対象となることについてネットなどで調べておくこと。 資料を再読し、本日学習したことを確認し、できるようにしておくこと。
15回	学習内容 予習 復習	まとめと総合評価演習 12回から14回の内容を復習し、配布資料に目を通しておくこと。 全15回の授業を振り返り、統計学についての理解度を確認すること。

科目名	コンピュータ会計演習			科目コード	24120		
英文名	Practice of Computer Accounting			科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(選択)		
担当教員	大屋 伸彦		教員コード	161	単位数	2単位	
開講期間	後期	曜日・時限	月曜日・1時限		授業形態	演習	
学位授与方針との対応	○	1.大学生としての幅広い教養を身につける		○	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
		3.論理的・批判的なものの見方を養う			4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
		5.学習の過程で発見した課題を探求する		◎	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	それぞれの勘定科目を理解し、仕訳を入力できるようにする。 財務諸表や精算表に勘定科目ごとの入力ができるようにする。						
授業の狙い・到達目標	コンピュータを使って帳簿記入を行えるようになるために、演習を通じて勘定科目や仕訳について理解できるようにする。						
授業内容のレベル・関連科目	簿記を理解していることを前提に演習を行うため、簿記論および簿記演習を履修済みであることが必須。						
授業外学習(予習・復習)	PCの操作に慣れておくこと。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計60時間		
使用教科書	教員が資料を配布する予定。						
参考書・その他教材	講義内で必要となった場合に指示する。						
課題に対するフィードバック	講義演習については、講義内に解説する。						
成績評価方法	演習課題(80%)、講義への取り組み(20%)						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	電卓を持参すること。 演習を行うため、Googleアカウントの操作は必須。						
科目に関連した教員の実務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	メールでの質問(ohya@aikoku-u.org)またはオフィシアワー(初回講義時にアナウンスする)。メールでの問合せは、件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。						

### 授業スケジュール

コンピュータ会計演習

1回	学習内容 予習 復習	イントロダクション(講義の進め方、PC操作の確認、簿記の復習) シラバスを読んでおくこと 講義の目的を理解しておくこと
2回	学習内容 予習 復習	エクセル帳簿での演習① 勘定科目にはどんなものがあるのか確認しておくこと 講義内での問題演習を復習しておくこと
3回	学習内容 予習 復習	エクセル帳簿での演習② 仕訳の方法を確認しておくこと 講義内での問題演習を復習しておくこと
4回	学習内容 予習 復習	コンピュータ会計ソフトの操作 2回、3回で扱った仕訳や勘定科目について理解しているか確認しておくこと 講義内での問題演習を復習しておくこと
5回	学習内容 予習 復習	演習(仕入れ・消費税・買掛金) ソフトの操作について確認しておくこと 講義内での問題演習を復習しておくこと
6回	学習内容 予習 復習	演習(売掛金・運賃) 前回講義で扱った仕訳や勘定科目について理解しているか確認しておくこと 講義内での問題演習を復習しておくこと
7回	学習内容 予習 復習	演習(クレジット払い、仮受消費税) 前回講義で扱った仕訳や勘定科目について理解しているか確認しておくこと 講義内での問題演習を復習しておくこと
8回	学習内容 予習 復習	演習(返品・前払金・前受金) 前回講義で扱った仕訳や勘定科目について理解しているか確認しておくこと 講義内での問題演習を復習しておくこと
9回	学習内容 予習 復習	演習(差入保証金・当座預金) 前回講義で扱った仕訳や勘定科目について理解しているか確認しておくこと 講義内での問題演習を復習しておくこと
10回	学習内容 予習 復習	演習(約束手形) 前回講義で扱った仕訳や勘定科目について理解しているか確認しておくこと 講義内での問題演習を復習しておくこと
11回	学習内容 予習 復習	演習(貸付金・借入金) 前回講義で扱った仕訳や勘定科目について理解しているか確認しておくこと 講義内での問題演習を復習しておくこと
12回	学習内容 予習 復習	演習(未払金・未収入金) 前回講義で扱った仕訳や勘定科目について理解しているか確認しておくこと 講義内での問題演習を復習しておくこと
13回	学習内容 予習 復習	演習(仮払金) 前回講義で扱った仕訳や勘定科目について理解しているか確認しておくこと 講義内での問題演習を復習しておくこと
14回	学習内容 予習 復習	演習(立替払・預り金) 前回講義で扱った仕訳や勘定科目について理解しているか確認しておくこと 講義内での問題演習を復習しておくこと
15回	学習内容 予習 復習	総合演習【演習課題】 これまでの講義で扱った勘定科目について理解しておくこと 演習を復習しておくこと

科目名	ビジネスモデル論 (eビジネス概論)			科目コード	24130	
英文名	Business Model Studies (Outline of e-business)			科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(必修)	
担当教員	羽田 利久		教員コード	155	単位数	2単位
開講期間	前期	曜日・時限	木曜日・4時限	授業形態	講義	
学位授与方針との対応	◎	1.大学生としての幅広い教養を身につける	○	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
		3.論理的・批判的なものの見方を養う		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	○	5.学習の過程で発見した課題を探索する	○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	ビジネスモデルとは、企業の活動や、企業が利益を生み出す仕組みのことを言う。インターネットを利用したビジネスとビジネスモデルについて学習し、Webビジネス全般についての理解を目指す。					
授業の狙い・到達目標	様々な企業の事例について学ぶことにより、企業活動そのものについて学生が興味を持ち、卒業後の社会における活動に影響を及ぼすことを期待する。そして、本講義の受講により、インターネットを利用したビジネスとビジネスモデルについて学習し、Webビジネス全般の基礎知識についての理解を深めることができる。					
授業内容のレベル・関連科目	Webビジネス全般についての入門的な講義である。					
授業外学習(予習・復習)	授業計画を確認して、参考になりそうな事項について事前に確認をしておくことが予習に繋がる。授業時に配布する資料や自身で作成したノートを元に、しっかりと復習すること。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計60時間	
使用教科書	教科書は使用せず、その都度資料を配布する。					
参考書・その他教材	西川英彦、澁谷覚(2019)『1からのデジタル・マーケティング』、碩学舎 井上達彦(2021)『マンガでやさしくわかるビジネスモデル』、日本能率協会マネジメントセンター					
課題に対するフィードバック	授業ごとに小テストや小レポートなどを課し、そのフィードバックは随時おこなう。その他疑問点があれば次回以降の授業で回答する。					
成績評価方法	授業内容の理解(50%)、授業への貢献度(30%)、小レポート等(20%)により、総合的に評価する。					
成績評価基準	学習の到達目標にどの位到達したかを、本学の学業成績判定に関する規定の基準に基づき評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	日頃から授業に関連したニュース等を意識して、知識の取得に努めること。 復習を重点的におこなひ、授業内容の理解を深めること。 授業計画は社会情勢や学生の理解度等を勘案して、変更する可能性がある。					
科目に関連した教員の実務経験	旅行会社社員として新規事業開発業務を担当(経験)					
担当教員への連絡方法	授業前後での質問、ならびにメールでも受け付ける。メールアドレス hada@aikou-u.org					

### 授業スケジュール

### ビジネスモデル論 (eビジネス概論)

1回	学習内容 予習 復習	イントロダクション、授業の進め方 授業計画を熟読して、授業の概要について理解をしておくこと。 授業の目的、内容について再度確認をし、理解を深めること。
2回	学習内容 予習 復習	デジタル社会のマーケティング 「Amazon」のサービスについて調べてくること 授業内容について、配布した資料を元にまとめをおこない、理解を深めること。
3回	学習内容 予習 復習	デジタル社会の消費者行動 「食べログ」について調べてくること 授業内容について、配布した資料を元にまとめをおこない、理解を深めること。
4回	学習内容 予習 復習	デジタル社会のビジネスモデル 「メルカリ」について調べてくること 授業内容について、配布した資料を元にまとめをおこない、理解を深めること。
5回	学習内容 予習 復習	デジタル・マーケティングの基本概念 「無印良品」について調べてくること 授業内容について、配布した資料を元にまとめをおこない、理解を深めること。
6回	学習内容 予習 復習	製品戦略の基本 「アップル」について調べてくること 授業内容について、配布した資料を元にまとめをおこない、理解を深めること。
7回	学習内容 予習 復習	製品戦略の拡張 「レゴ」について調べてくること 授業内容について、配布した資料を元にまとめをおこない、理解を深めること。
8回	学習内容 予習 復習	価格戦略の基本 「ANA」について調べてくること 授業内容について、配布した資料を元にまとめをおこない、理解を深めること。
9回	学習内容 予習 復習	価格戦略の拡張 「エアビーアンドビー」について調べてくること 授業内容について、配布した資料を元にまとめをおこない、理解を深めること。
10回	学習内容 予習 復習	チャンネル戦略の基本 「ユニクロ」について調べてくること 授業内容について、配布した資料を元にまとめをおこない、理解を深めること。
11回	学習内容 予習 復習	チャンネル戦略の拡張 「Uber」について調べてくること 授業内容について、配布した資料を元にまとめをおこない、理解を深めること。
12回	学習内容 予習 復習	プロモーションの基本 「ローソン」のSNSについて調べてくること 授業内容について、配布した資料を元にまとめをおこない、理解を深めること。
13回	学習内容 予習 復習	プロモーションの拡張 「トリップアドバイザー」について調べてくること 授業内容について、配布した資料を元にまとめをおこない、理解を深めること。
14回	学習内容 予習 復習	デジタル社会のリサーチ 「Google」について調べてくること 授業内容について、配布した資料を元にまとめをおこない、理解を深めること。
15回	学習内容 予習 復習	これまでの授業のまとめ これまでの授業で配布した資料を振り返り、不明点や疑問点を明確にしておくこと。 授業内容全般を振り返り、Webビジネスについての理解を深めること。

<b>科目名</b>	ビジネスモデル演習（ビジネス実務総合演習）				<b>科目コード</b>	24140	
<b>英文名</b>	Practice of Business Models (Practice of Business Affairs)				<b>科目区分</b>	【専門科目】 ビジネス専攻（選択）	
<b>担当教員</b>	羽田 利久		<b>教員コード</b>	155	<b>単位数</b>	2単位	
<b>開講期間</b>	後期	<b>曜日・時限</b>	木曜日・4時限	<b>授業形態</b>	演習		
<b>学位授与方針との対応</b>	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける	<input type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する			
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う	<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する			
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探索する	<input checked="" type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う			
<b>授業概要</b>	四街道に観光目的の人を呼ぶためにはどうすればよいか、マーケティングの観点から考察を行う。授業を通じて企画書の作成をおこなうことによりマーケティングについての理解を深める。						
<b>授業の狙い・到達目標</b>	地域振興を事例として、消費者行動の基本や商品の企画、販売などマーケティングについて理解することを旨とする。マーケティングの基礎的な知識を身につけ、その観点から思考をすることができるようになる。						
<b>授業内容のレベル・関連科目</b>	マーケティングについての入門的な講義である。地域振興や観光を事例の対象としているが、その範囲は限定しない。ビジネスモデル論の履修を推奨する。						
<b>授業外学習（予習・復習）</b>	授業計画を確認して、参考になりそうな事項について事前に確認しておくことが予習に繋がる。授業時に配布する資料や自身で作成したノートを元に、しっかりと復習すること。				<b>授業外学習に必要な時間</b>	各回4時間、合計60時間	
<b>使用教科書</b>	教科書は使用せず、その都度レジュメを配布する。						
<b>参考書・その他教材</b>	石川和男、佐々木茂、石原慎士編著(2021)『入門マーケティングの核心』同友館 青木幸弘、新倉貴士、佐々木壮太郎、松下光司(2012)『消費者行動論』有斐閣アルマ						
<b>課題に対するフィードバック</b>	授業ごとに小テストを課し、そのフィードバックは随時おこなう。その他疑問点があれば次回以降の授業で回答する。						
<b>成績評価方法</b>	提出課題(70%)、授業への貢献度(30%)により、総合的に評価する。						
<b>成績評価基準</b>	学習の到達目標にどの位到達したかを、本学の学業成績判定に関する規定の基準に基づき評価する。						
<b>履修上の注意事項や学習上の助言</b>	日頃から授業に関連したニュース等を意識して、知識の取得に努めること。 パワーポイントでの資料作成が必須となる。 授業計画は社会情勢や学生の理解度等を勘案して、変更する可能性がある。						
<b>科目に関連した教員の実務経験</b>	旅行会社社員として旅行の企画や広告宣伝など旅行に関する全般的な業務を担当（経験） （第2回～第12回は実務経験を踏まえた講義である）						
<b>担当教員への連絡方法</b>	授業前後での質問、ならびにメールでも受け付ける。メールアドレス hada@aikoku-u.org						

### 授業スケジュール

### ビジネスモデル演習（ビジネス実務総合演習）

<b>1回</b>	<b>学習内容</b> イントロダクション、本講義の目的と内容、授業の進め方について <b>予習</b> 授業計画を熟読して、授業の概要について理解をして臨むこと。 <b>復習</b> 授業の目的、内容について再度確認をし、理解を深めること。
<b>2回</b>	<b>学習内容</b> マーケティング・ミックス ツアーについて4Pの観点から考える <b>予習</b> 自分が行きたい旅行の価格はいくら位で、どこから買うか、考えをまとめておくこと。 <b>復習</b> 授業内容について、配布したレジュメを元にまとめをおこない、理解を深めること。
<b>3回</b>	<b>学習内容</b> ニーズとウォンツ その地に行きたいと思わせる理由 <b>予習</b> 旅行に行きたいと思うきっかけは何か、考えをまとめておくこと。 <b>復習</b> 授業内容について、配布したレジュメを元にまとめをおこない、理解を深めること。
<b>4回</b>	<b>学習内容</b> ターゲティング 観光地に来ていただけるのはどのような人か <b>予習</b> 千葉県に観光に来たいと思う人はどのような人が考えられるか、まとめておくこと。 <b>復習</b> 授業内容について、配布したレジュメを元にまとめをおこない、理解を深めること。
<b>5回</b>	<b>学習内容</b> 意思決定 どうしたら人は四街道に来ようと思うのか <b>予習</b> 自分が観光地を決める理由について、考えをまとめておくこと。 <b>復習</b> 授業内容について、配布したレジュメを元にまとめをおこない、理解を深めること。
<b>6回</b>	<b>学習内容</b> 競争戦略(1) 四街道に高額所得者を呼ぶには <b>予習</b> 高額所得者を呼ぶための方法について考えておくこと。 <b>復習</b> 授業内容について、配布したレジュメを元にまとめをおこない、理解を深めること。
<b>7回</b>	<b>学習内容</b> 競争戦略(2) 四街道に年間3000万人の観光客を呼ぶには <b>予習</b> とにかく沢山の人を集めるための手段はどのようなものが考えられるかまとめておくこと。 <b>復習</b> 授業内容について、配布したレジュメを元にまとめをおこない、理解を深めること。
<b>8回</b>	<b>学習内容</b> SWOT分析 千葉ではなく四街道に来てもらうためには <b>予習</b> 四街道市はどのような場所か、調べておくこと。 <b>復習</b> 授業内容について、配布したレジュメを元にまとめをおこない、理解を深めること。
<b>9回</b>	<b>学習内容</b> プロモーション 四街道のイメージを伝える方法を考える <b>予習</b> 何かを人に伝える手段はどのようなものがあるか、まとめておくこと。 <b>復習</b> 授業内容について、配布したレジュメを元にまとめをおこない、理解を深めること。
<b>10回</b>	<b>学習内容</b> 集客手段 インターネットで集客する方法を考える <b>予習</b> 自分が見てつい押ししてしまったインターネット広告についてまとめておくこと。 <b>復習</b> 授業内容について、配布したレジュメを元にまとめをおこない、理解を深めること。
<b>11回</b>	<b>学習内容</b> ブランド 四街道のブランドはどのようなものか <b>予習</b> ブランドと聞いて思いつくものは何で、それはどのようなものか、考えをまとめておくこと。 <b>復習</b> 授業内容について、配布したレジュメを元にまとめをおこない、理解を深めること。
<b>12回</b>	<b>学習内容</b> お客様との関係性について <b>予習</b> 何度も行ってしまうお店はどうしてなのか、その理由を考えまとめておくこと。 <b>復習</b> 授業内容について、配布したレジュメを元にまとめをおこない、理解を深めること。
<b>13回</b>	<b>学習内容</b> ツアー企画を考えよう(グループ討議) <b>予習</b> これまでの授業の内容を元に、四街道市を巡るツアーについて考えておくこと。 <b>復習</b> 討議内容について振り返り、発表内容をまとめること。
<b>14回</b>	<b>学習内容</b> ツアー企画を考えよう(発表) <b>予習</b> 発表のための準備しておくこと。 <b>復習</b> 発表した内容について振り返り、他の人の発表を聞いて感じたことと併せてまとめておくこと。
<b>15回</b>	<b>学習内容</b> これまでの授業のまとめ <b>予習</b> これまでの授業で配布したレジュメを振り返り、不明点や疑問点を明確にしておくこと。 <b>復習</b> 授業内容全般を振り返り、受講内容についての理解を深めること。

科目名	女性起業論			科目コード	24150		
英文名	Entrepreneurship for Women			科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(必修)		
担当教員	久保田 裕子		教員コード	256	単位数	2単位	
開講期間	前期	曜日・時限	金曜日・3時限		授業形態	講義	
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける		<input type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う		<input checked="" type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探求する		<input type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	個人が起業しやすい環境の中、女性ならではのアイデアを活かしたビジネスも多く生まれている。本講義では、ビジネスモデルと起業の知識を得ると共に、女性の起業の可能性について考えていく。						
授業の狙い・到達目標	起業における創造的活動を理解し、自らもアイデアに満ちたビジネスプランを作成し、発表することを目標とする。①起業に求められることを理解し、文章化することができる。②ビジネスのアイデアを考え、ビジネスプランを発表できる。						
授業内容のレベル・関連科目	言葉の意味など丁寧に解説していく。自分の将来について考え、情報収集をしながら、自らの世界を広げていけるように、発言力も高めていく。「ソーシャルビジネス概論」や「女性労働論」が関連科目であり、受講することが望ましい。						
授業外学習(予習・復習)	授業の最後に、まとめと、次回講義の予習スライドを提示する。これに基づいて、予習・復習をすること。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計60時間		
使用教科書	特になし						
参考書・その他教材	授業内で提示する。						
課題に対するフィードバック	毎回の授業時に確認をする。						
成績評価方法	①レポート(80%)、②平常点(20%)により評価する。						
成績評価基準	本講義の到達目標である①起業についての理解、②ビジネスプラン作成などについて、本学の成績評価基準に基づき、到達度を総合的に評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	現在起業をする予定がなくても、社会に出た時に役立つ知識と実践力を養い、自分の意見を発信できるように身につけていく。						
科目に関連した教員の業務経験	個人事業主・株式会社経営・NPO法人代表理事として、人材育成・教育啓発・カウンセリング事業など続けている経験を、講義の中に随時盛り込んでいく。						
担当教員への連絡方法	久保田裕子(くぼたひろこ) kubotah@aikoku-u.org に、タイトル・学籍番号・氏名を忘れずに記入すること。						

## 授業スケジュール

女性起業論

1回	学習内容 予習 復習	<イントロダクション>授業の進め方、現時点での目標と到達点の確認 シラバスをあらかじめ読んでおくこと 授業内容の振り返り(関連情報収集しレポートをまとめる)
2回	学習内容 予習 復習	女性の社会進出の歴史と現状 ビジネス環境と見直し 前回の授業時提示の予習用スライドを参考に準備する 授業内容の振り返り(関連情報収集しレポートをまとめる)
3回	学習内容 予習 復習	パラダイムシフトとステレオタイプ 女性起業家の課題と展望 前回の授業時提示の予習用スライドを参考に準備する 授業内容の振り返り(関連情報収集しレポートをまとめる)
4回	学習内容 予習 復習	女性起業家に求められる資質 前回の授業時提示の予習用スライドを参考に準備する 授業内容の振り返り(関連情報収集しレポートをまとめる)
5回	学習内容 予習 復習	魅力的な女性企業家 自己実現のために必要なこと 前回の授業時提示の予習用スライドを参考に準備する 授業内容の振り返り(関連情報収集しレポートをまとめる)
6回	学習内容 予習 復習	女性のライフステージとライフプラン 前回の授業時提示の予習用スライドを参考に準備する 授業内容の振り返り(関連情報収集しレポートをまとめる)
7回	学習内容 予習 復習	セルフブランディングのための自己分析 前回の授業時提示の予習用スライドを参考に準備する 授業内容の振り返り(関連情報収集しレポートをまとめる)
8回	学習内容 予習 復習	個人事業主へのプロセス 前回の授業時提示の予習用スライドを参考に準備する 授業内容の振り返り(関連情報収集しレポートをまとめる)
9回	学習内容 予習 復習	マーケットの求めるビジネスアイデアを考える 前回の授業時提示の予習用スライドを参考に準備する 授業内容の振り返り(関連情報収集しレポートをまとめる)
10回	学習内容 予習 復習	自己実現のためのビジネスアイデアを考える 前回の授業時提示の予習用スライドを参考に準備する 授業内容の振り返り(関連情報収集しレポートをまとめる)
11回	学習内容 予習 復習	ビジネスプランを考える 前回の授業時提示の予習用スライドを参考に準備する 授業内容の振り返り(関連情報収集しレポートをまとめる)
12回	学習内容 予習 復習	ビジネスプランを作成する 前回の授業時提示の予習用スライドを参考に準備する 授業内容の振り返り(関連情報収集しレポートをまとめる)
13回	学習内容 予習 復習	心をつかむプレゼンテーション 「私の起業計画ノート」発表 前回の授業時提示の予習用スライドを参考に準備する 授業内容の振り返り(関連情報収集しレポートをまとめる)
14回	学習内容 予習 復習	改良版「私の起業計画ノート」プレゼンテーション 前回の授業時提示の予習用スライドを参考に準備する 授業内容の振り返り(関連情報収集しレポートをまとめる)
15回	学習内容 予習 復習	まとめとふりかえり 前回の授業時提示の予習用スライドを参考に準備する 授業内容の振り返り(関連情報収集しレポートをまとめる)

科目名	ソーシャルビジネス概論				科目コード	24160	
英文名	Outline of Social Business				科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(選択)	
担当教員	中野 慶昭		教員コード	163	単位数	2単位	
開講期間	前期	曜日・時限	火曜日・4時限		授業形態	講義	
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける		<input checked="" type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う		<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探求する		<input type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	ソーシャルビジネスの成り立ちや仕組みを理解する。 ソーシャルビジネスの今後について考える。						
授業の狙い・到達目標	ソーシャルビジネスについて理解できる。 SDGsについて理解できる。 ソーシャルビジネスを担うために自分たちが何をすべきか自分の言葉で発表できる。						
授業内容のレベル・関連科目	ソーシャルビジネスにはベンチャー的な要素も含まれるので、「ベンチャービジネス論」もあわせて履修することが望ましい。						
授業外学習(予習・復習)	予習・復習については教員からの指示に従い行うこと。				授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計60時間	
使用教科書	教員が資料を配布する予定。						
参考書・その他教材	講義内で必要となった場合に指示する。						
課題に対するフィードバック	最終講義で発表についてのフィードバックを行う。						
成績評価方法	発表(40%)、小レポート(30%)、平常点(30%)						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	日頃からソーシャルビジネスや社会的問題提起に関するニュースを意識しておくこと。						
科目に関連した教員の業務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	質問はメールでも受け付ける。 件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。						

### 授業スケジュール

### ソーシャルビジネス概論

1回	学習内容 予習 復習	〈イントロダクション〉 講義の進め方、参考図書の紹介など シラバスを読んでおくこと 講義の目的を理解しておくこと
2回	学習内容 予習 復習	〈ソーシャルビジネス概要①〉 ソーシャルビジネスについて概説する ソーシャルビジネスという用語について調べておくこと ソーシャルビジネス全体の概要をつかんでおくこと
3回	学習内容 予習 復習	〈ソーシャルビジネス概要②〉 ソーシャルビジネスの展望について概説する ソーシャルビジネスの展望について考えておくこと ソーシャルビジネス全体の概要をつかんでおくこと
4回	学習内容 予習 復習	〈ソーシャルビジネス事例①〉 ソーシャルビジネスの事例について説明する 事例に指定する企業について調べておくこと 取り組み事例を理解しておくこと
5回	学習内容 予習 復習	〈ソーシャルビジネス事例②〉 ソーシャルビジネスの事例について説明する 事例に指定する企業について調べておくこと 取り組み事例を理解しておくこと
6回	学習内容 予習 復習	〈SDGs概要〉 SDGsの概要について概説する SDGsという用語について調べておくこと SDGsについて概要を理解すること
7回	学習内容 予習 復習	〈SDGs事例〉 国内や海外のSDGsの事例を説明する SDGsに取り組んでいる企業や団体などについて調べておくこと 各取り組み事例について理解すること
8回	学習内容 予習 復習	〈前半のまとめ〉 これまでの授業の振り返り これまでの講義の疑問点をまとめておくこと これまでの講義の論点を整理し、小レポートを作成する
9回	学習内容 予習 復習	〈SDGsとソーシャルビジネス①〉 SDGsとソーシャルビジネスの関係について考える SDGsやソーシャルビジネスについて調べておくこと SDGsやソーシャルビジネスについて理解すること
10回	学習内容 予習 復習	〈SDGsとソーシャルビジネス②〉 ソーシャルビジネスのデメリットについて考える ソーシャルビジネスのデメリットについて調べておくこと ソーシャルビジネスのメリットやデメリットについて理解すること
11回	学習内容 予習 復習	〈SDGsとソーシャルビジネス③〉 SDGsのデメリットについて考える SDGsのデメリットについて調べておくこと SDGsのメリットやデメリットについて理解すること
12回	学習内容 予習 復習	〈演習①〉 自分だったらどんなソーシャルビジネスを展開したいかを考える 自身が行いたいソーシャルビジネスについて考えておく 自身が行いたいソーシャルビジネスについて発表の準備をする
13回	学習内容 予習 復習	〈演習②〉 自分だったらどんなソーシャルビジネスを展開したいかを考える 自身が行いたいソーシャルビジネスについて考えておく 自身が行いたいソーシャルビジネスについて発表の準備をする
14回	学習内容 予習 復習	〈発表〉 自身が行いたいソーシャルビジネスの発表 講義で学んだことを踏まえて自分なりの考えをまとめておく 自身および他者の発表したことをまとめておく
15回	学習内容 予習 復習	〈全体のまとめ〉 発表のフィードバックと全体のまとめ 講義で学んだことを踏まえて自分なりの考えをまとめておく 他者の意見と自身の意見の同意点や相違点を自分なりにまとめておく



科目名	ベンチャービジネス論（インターネットマーケティング）				科目コード	24170	
英文名	Start-up Strategy (Internet Marketing)				科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻（選択）	
担当教員	大屋 伸彦		教員コード	161	単位数	2単位	
開講期間	前期	曜日・時限	水曜日・2時限		授業形態	講義	
学位授与方針との対応	○	1.大学生としての幅広い教養を身につける		◎	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
		3.論理的・批判的なものの見方を養う			4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	○	5.学習の過程で発見した課題を探究する		○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	起業や資金調達の基本的な仕組みを理解する。 ケーススタディから事業開発に必要なヒト、モノ、カネなどの経営資源をどう扱うのかを学ぶ。						
授業の狙い・到達目標	過去に成功したスタートアップ企業が現在どのような形に進化したのか、成功したスタートアップ企業とそうでない企業との違いについて理解することができる。 自分たちがスタートアップ企業として成功するために必要なことを理解し、自分たちの言葉で発表できるようにする。						
授業内容のレベル・関連科目	企業のマネジメントを学んだ上での発展的な内容となるため、経営管理論の履修することが望ましい。						
授業外学習（予習・復習）	予習・復習については教員からの指示に従い行うこと。 グループワークにおいて積極的に発言をすること。				授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間	
使用教科書	教員が資料を配布する予定。						
参考書・その他教材	講義内で必要となった場合に指示する。						
課題に対するフィードバック	最終講義でグループワークのフィードバックを行う。						
成績評価方法	課題レポート(30%)、グループワーク発表(50%)、講義への貢献度(20%)						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	日頃からベンチャー企業に関するニュースを意識しておくこと。 もし自分が起業したらどのように経営をするのかという考えを持っておくこと。						
科目に関連した教員の実務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	メールでの質問（ohya@aikoku-u.org）またはオフィシアワー（初回講義時にアナウンスする）。メールでの問合せは、件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。						

### 授業スケジュール

### ベンチャービジネス論（インターネットマーケティング）

1回	学習内容 予習 復習	イントロダクション(講義の進め方、参考図書を紹介、グループワークの説明など) シラバスを読んでおくこと 講義の目的を理解しておくこと
2回	学習内容 予習 復習	ベンチャー企業を考える 指示した文献などに目を通しておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
3回	学習内容 予習 復習	日本のベンチャー企業の実態 指示した文献などに目を通しておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
4回	学習内容 予習 復習	ICTベンチャーの類型 指示した文献などに目を通しておくこと 講義内容にでてきた用語や内容を理解しておくこと
5回	学習内容 予習 復習	ICTベンチャーと技術 ケーススタディで取り上げた企業について調べておく 講義内容にでてきた用語や内容を理解しておくこと
6回	学習内容 予習 復習	ベンチャーの成長ステージ①ベンチャー企業の成長プロセス 指示した文献などに目を通しておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
7回	学習内容 予習 復習	ベンチャーの成長ステージ②ベンチャー企業の成功要因 指示した文献などに目を通しておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
8回	学習内容 予習 復習	アイデアから事業機会へ 指示した文献などに目を通しておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
9回	学習内容 予習 復習	ビジネスコンセプト 指示した文献などに目を通しておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
10回	学習内容 予習 復習	マーケティングの基礎①マーケティング分析 指示した文献などに目を通しておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
11回	学習内容 予習 復習	マーケティングの基礎②プロモーション戦略 指示した文献などに目を通しておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
12回	学習内容 予習 復習	ビジネスモデル これまでの講義内容の全体を理解しておく グループワーク課題に対して個人でできる限り調査をしておく
13回	学習内容 予習 復習	グループワーク(課題:ランキング上位のベンチャーを調べ、どうビジネスを成功させたか) 講義で学んだことを踏まえて自分なりの考えをまとめておく グループワークを進める
14回	学習内容 予習 復習	グループワーク発表 グループワークを進める 発表後に考えたことを自分なりにまとめておく
15回	学習内容 予習 復習	グループワーク発表のフィードバック 講義で学んだことを踏まえて自分なりの考えをまとめておく 他者の意見と自身の意見の同意点や相違点を自分なりにまとめておく

科目名	簿記論（簿記Ⅰ/簿記Ⅱ）			科目コード	24180	
英文名	Bookkeeping (Bookkeeping I or II)			科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(必修)	
担当教員	呉 蔭		教員コード	157	単位数	2単位
開講期間	前期	曜日・時限	火曜日・2時限	授業形態	講義	
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける	<input checked="" type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う	<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探求する	<input type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	簿記を学習することは、企業の経済活動を理解し、これを整理、計算して有用な情報としてまとめることができる。本講義では、会計学概論よりも、演習問題を数多く解く講義になる。「知識として知っている」段階から、実践的に「使いこなせる」段階へ引き上げるための講義となる。					
授業の狙い・到達目標	会計学概論が簿記の入門編であるのに対し、本講義および簿記演習は実践編である。日本商工会議所簿記検定3級に合格できるようなスキルアップだけでなく、簿記上の取引に関する本質的な理解ができるようになり、3級以上の自主学習に必要とされる理解力を持てるようになる。					
授業内容のレベル・関連科目	日本商工会議所簿記検定3級以上の合格を実践的なターゲットとする。 関連科目:会計学概論、簿記演習(簿記演習ⅠまたはⅡ)					
授業外学習(予習・復習)	予習:授業の計画を事前に確認して、積極的に予習に取り組む。 復習:教科書、演習問題を復習し、基礎知識を身につけるように振り返る。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間	
使用教科書	蛭川幹夫著『日商簿記ゼミ3級 教本 改訂版』実教出版(2019) 蛭川幹夫著『日商簿記ゼミ3級 問題演習』実教出版(2019)					
参考書・その他教材	担当教員が作成する配布資料、電卓					
課題に対するフィードバック	提出された課題を確認してから、翌週の授業時に解答・解説を行う。					
成績評価方法	期末試験(70%)、演習問題理解度(20%)、平常点(10%)					
成績評価基準	演習問題の理解度、期末試験の結果などを踏まえて、本学の「学業成績判定に関する規定の基準」に基づき、到達度を総合的に評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	学習効果を高めるために、簿記演習とあわせて履修することを推奨する。簿記Ⅰを履修済みの学生は簿記Ⅱとして履修可。簿記Ⅱを履修済みの学生は簿記Ⅰとして履修可。簿記Ⅰ、Ⅱいずれも履修済みの学生は履修不可。					
科目に関連した教員の業務経験	特になし					
担当教員への連絡方法	質問や相談など、メール(wu@aikoku-u.org)でも対応可。件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載する。					

授業スケジュール 簿記論（簿記Ⅰ/簿記Ⅱ）

1回	学習内容 予習 復習	イントロダクション(講義の概要、達成目標など)、簿記の学習にあたりシラバスを事前に確認して、教科書の序章を予習する。 講義内容を復習し、演習問題を完成する。
2回	学習内容 予習 復習	簿記の基礎、演習問題と解説 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
3回	学習内容 予習 復習	貸借対照表と損益計算書(1)、演習問題と解説 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
4回	学習内容 予習 復習	貸借対照表と損益計算書(2)、演習問題と解説(履修生による解説、講評) 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
5回	学習内容 予習 復習	損益法、損益計算書等式、演習問題と解説(履修生による解説、講評) 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
6回	学習内容 予習 復習	企業の取引と勘定、演習問題と解説 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
7回	学習内容 予習 復習	仕訳帳の記入法と総勘定元帳への転記(1) 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
8回	学習内容 予習 復習	仕訳帳の記入法と総勘定元帳への転記(2) 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題(検定問題)を完成する。
9回	学習内容 予習 復習	試算表(合計試算表、残高試算表、合計残高試算表)、演習問題と解説 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題(検定問題)を完成する。
10回	学習内容 予習 復習	期中取引の仕訳(1)、演習問題と解説 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
11回	学習内容 予習 復習	期中取引の仕訳(2)、演習問題と解説(履修生による解説、講評) 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題(検定問題)を完成する。
12回	学習内容 予習 復習	補助簿の記帳(現金出納帳など)、演習問題と解説 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
13回	学習内容 予習 復習	演習問題形式による講義の復習と解説 第2～12回の講義内容、演習問題を復習する。 第2～12回の講義内容、演習問題を復習し、追加の演習問題(検定問題)を完成する。
14回	学習内容 予習 復習	貸借対照表と損益計算書の作成、演習問題と解説 第3～5回の講義内容を復習し、配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、第3～5回の講義内容を復習し、追加の演習問題(検定問題)を完成する。
15回	学習内容 予習 復習	総括(簿記一巡の要点をまとめる) 第1～14回の講義内容、演習問題を復習する。 第1～14回の講義内容、演習問題を復習し、追加の演習問題(検定問題)を完成する。

科目名	簿記演習（簿記演習Ⅰ/簿記演習Ⅱ）			科目コード	24190	
英文名	Practical Training of Bookkeeping (Practical Training of Bookkeeping I or II)			科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(選択)	
担当教員	呉 蔭	教員コード	157	単位数	2単位	
開講期間	後期	曜日・時限	火曜日・2時限	授業形態	演習	
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける	<input checked="" type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う	<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探索する	<input type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	会計学概論よりも、演習問題を数多く解く講義になる。「知識として知っている」段階から、実践的に「使いこなせる」段階へ引き上げるための演習となる。					
授業の狙い・到達目標	会計学概論が簿記の入門編であるのに対し、本講義と簿記論は実践編である。簿記論より、本講義は応用力と実践性をさらに重視している。本講義を通して、日本商工会議所簿記検定3級に合格できるようなスキルアップだけでなく、簿記上の取引に関する本質的な理解を深めるようになり、3級以上の自主学習に必要とされる考える力を持てるようになる。					
授業内容のレベル・関連科目	実践的な演習を中心とする。 関連科目:会計学概論、簿記論					
授業外学習(予習・復習)	予習・復習・講義を繰り返し、簿記の基礎知識を身につける。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間	
使用教科書	蛭川幹夫著『日商簿記ゼミ3級 教本 改訂版』実教出版(2019) 蛭川幹夫著『日商簿記ゼミ3級 問題演習』実教出版(2019)					
参考書・その他教材	担当教員が作成する配布資料、電卓					
課題に対するフィードバック	提出された課題を確認してから、翌週の授業時に返却して解答・解説を行う。					
成績評価方法	期末試験(70%)、課題提出(20%)、平常点(10%)					
成績評価基準	演習問題の理解度、期末試験の結果などを踏まえて、大学の「学業成績判定に関する規定の基準」に基づき、到達度を総合的に評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	簿記論を履修してから本講義を履修することを推奨する。簿記演習Ⅰを履修済みの学生は簿記演習Ⅱとして履修可。簿記演習Ⅱを履修済みの学生は簿記演習Ⅰとして履修可。簿記演習Ⅰ、Ⅱいずれも履修済みの学生は履修不可。					
科目に関連した教員の業務経験	特になし					
担当教員への連絡方法	質問や相談など、メール(wu@aikoku-u.org)でも対応可。件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載する。					

授業スケジュール 簿記演習（簿記演習Ⅰ/簿記演習Ⅱ）

1回	学習内容 予習 復習	イントロダクション(講義の概要、達成目標など)、基礎力テストと解説 シラバスを事前に確認して、教科書(教本)の第2章を復習する。 配布資料と教科書の指定ページを復習し、演習問題を完成する。
2回	学習内容 予習 復習	簿記上の取引・勘定・仕訳、演習問題と解説 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
3回	学習内容 予習 復習	転記、合計・残高、勘定の締め切り、各種の帳簿、試算表の作成、演習問題と解説 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題(検定問題)を完成する。
4回	学習内容 予習 復習	商品売買(1)、演習問題と解説 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
5回	学習内容 予習 復習	商品売買(2)、演習問題と解説(履修生による解説、講評を含む) 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題(検定問題)を完成する。
6回	学習内容 予習 復習	現金の受払い、現金過不足の処理、演習問題と解説 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題(検定問題)を完成する。
7回	学習内容 予習 復習	当座預金、演習問題と解説 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題(検定問題)を完成する。
8回	学習内容 予習 復習	小口現金、演習問題と解説 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題(検定問題)を完成する。
9回	学習内容 予習 復習	第1～8回講義の復習、演習問題と解説(履修生による解説、講評を含む) 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 第1～8回の講義内容演習問題と解説を復習し、追加の演習問題(検定問題)を完成する。
10回	学習内容 予習 復習	手形(1)、演習問題と解説 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
11回	学習内容 予習 復習	手形(2)、演習問題と解説(履修生による解説、講評を含む) 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題(検定問題)を完成する。
12回	学習内容 予習 復習	その他の期中取引(1)、演習問題と解説 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
13回	学習内容 予習 復習	その他の期中取引(2)、演習問題と解説 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題(検定問題)を完成する。
14回	学習内容 予習 復習	試算表の作成(1)、演習問題と解説 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 第1～14回の講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
15回	学習内容 予習 復習	試算表の作成(2)、演習問題と解説、総括 第1～14回の講義内容、演習問題と解説を復習する。 第1～15回の講義内容、演習問題と解説を復習し、追加の演習問題(検定問題)を完成する。

科目名	会計学概論			科目コード	24200	
英文名	Outline of Accounting			科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(選択)	
担当教員	呉 蔭		教員コード	157	単位数	2単位
開講期間	後期	曜日・時限	水曜日・3時限	授業形態	講義	
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける	<input checked="" type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う	<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探索する	<input type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	企業会計は、会社の効率的な運営にとって不可欠な手続きである。実践的な知識として習得するため、本講義では演習問題を数多くこなしていく。					
授業の狙い・到達目標	本講義を通して、会計制度の基礎知識への実践的な理解ができるようになる。会計制度の役割・仕組みを的確に理解することを通して、上場企業や中小企業などの企業活動に対して会計学の視点から分析する力を育てるようになる。					
授業内容のレベル・関連科目	ビジネス(企業経営)に関心を持ち、会計学関連の知識を専門的に理解するための基礎を養う。関連科目:簿記論、簿記演習(簿記演習ⅠまたはⅡ)、財務管理論、原価計算論					
授業外学習(予習・復習)	予習:授業の計画を事前に確認して、積極的に予習に取り組む。 復習:教科書などを確認しながら、基礎知識を身につけるように振り返る。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間	
使用教科書	千代田邦夫(著)『会計学入門(第6版)』中央経済社(2020)					
参考書・その他教材	担当教員が作成する配布資料、電卓					
課題に対するフィードバック	提出された課題を確認してから、翌週の授業時に返却して解答・解説を行う。					
成績評価方法	期末試験(70%)、課題提出(20%)、平常点(10%)					
成績評価基準	普段の課題提出状況、期末試験の結果などを踏まえて、本学の「学業成績判定に関する規定の基準」に基づき、到達度を総合的に評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	主体的に学習に取り組むこと。 (講義中に行う演習問題には、とりわけその姿勢が不可欠である)					
科目に関連した教員の業務経験	特になし					
担当教員への連絡方法	質問や相談など、メール(wu@aikoku-u.org)あるいは対面に対応する。メールの場合、件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載する。対面の場合、授業終了後あるいはオフィスアワー(新年度に掲示)に対応する。					

### 授業スケジュール

会計学概論

1回	学習内容 予習 復習	イントロダクション(講義の概要、進め方、達成目標などを確認する。) 事前にシラバスを確認する。 配布資料を復習し、講義の目的、スケジュール、達成目標などを明確にする。
2回	学習内容 予習 復習	会計、企業とは 配布資料、教科書の指定ページを予習する。 配布資料と授業中の解説(板書)を復習する。
3回	学習内容 予習 復習	複式簿記の原理、演習問題と解説 配布資料、教科書指定ページを予習する。 講義内容と授業中の演習問題と解説を復習し、演習問題を完成する。
4回	学習内容 予習 復習	会計制度の論理と体系(1) 配布資料、教科書の指定ページを予習する。 配布資料、教科書の指定ページと授業中の解説(板書)を復習する。
5回	学習内容 予習 復習	会計制度の論理と体系(2) 配布資料、教科書の指定ページを予習する。 配布資料、教科書の指定ページと授業中の解説(板書)を復習する。
6回	学習内容 予習 復習	損益計算書のパラダイム、演習問題と解説(履修生による解説、講評を含む) 配布資料、教科書の指定ページを予習する。 配布資料、教科書の指定ページと授業中の演習問題を復習し、追加の演習問題を完成する。
7回	学習内容 予習 復習	貸借対照表の見方、演習問題と解説(履修生による解説、講評を含む) 配布資料、教科書の指定ページを予習する。 配布資料、教科書の指定ページと授業中の演習問題を復習し、追加の演習問題を完成する。
8回	学習内容 予習 復習	第2回～第7回の復習、演習問題と解説(履修生による解説、講評を含む) 配布資料、教科書の指定ページを予習する。 配布資料、教科書の指定ページと授業中の演習問題を復習し、追加の演習問題を完成する。
9回	学習内容 予習 復習	キャッシュ・フロー計算書の読み方、演習問題と解説 配布資料、教科書の指定ページを予習する。 配布資料、教科書の指定ページと授業中の演習問題を復習し、追加の演習問題を完成する。
10回	学習内容 予習 復習	企業会計の基準(企業会計の理論的な仕組み) 配布資料、教科書の指定ページを予習する。 配布資料、授業中の解説(板書)、教科書の指定ページを復習する。
11回	学習内容 予習 復習	資産の会計(1) 配布資料、教科書の指定ページを予習する。 配布資料、教科書の指定ページと授業中の演習問題を復習し、追加の演習問題を完成する。
12回	学習内容 予習 復習	資産の会計(2) 配布資料、教科書の指定ページを予習する。 配布資料、教科書の指定ページと授業中の演習問題を復習し、追加の演習問題を完成する。
13回	学習内容 予習 復習	経営パフォーマンスの測定と表示、演習問題と解説 配布資料、教科書の指定ページを予習する。 配布資料、教科書の指定ページと授業中の演習問題を復習し、追加の演習問題を完成する。
14回	学習内容 予習 復習	演習問題(履修生による解説、講評を含む) 第1～13回の配布資料、教科書の指定ページ、演習問題と解説を復習する。 演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
15回	学習内容 予習 復習	総括(第1～14回の要点整理)、演習問題と解説(履修生による解説、講評を含む) 第1～14回の配布資料、教科書の指定ページ、演習問題と解説を復習する。 第1～14回の講義内容、演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。

科目名	財務管理論			科目コード	24210	
英文名	Financial Management			科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(選択)	
担当教員	呉 嵩		教員コード	157	単位数	2単位
開講期間	前期	曜日・時限	月曜日・3時限	授業形態	講義	
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける	<input checked="" type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う	<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探求する	<input type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	本講義では財務諸表の見方と分析方法を講義する。企業の財務的意思決定を理解するために、事業活動への投資、資金調達、利益の配分等に関する基礎知識と分析のスキルを習得する。					
授業の狙い・到達目標	財務管理の基礎知識を習得することが狙いである。具体的には、財務諸表に関する各指標の意義と計算の仕組みを学び、企業の経営分析と管理会計の基本に對して的確に理解する能力を持てるようになる。					
授業内容のレベル・関連科目	本講義では、会計学概論の関連知識をベースとしながら、財務諸表の見方と分析方法をより具体的に解説する。 関連科目: 会計学概論、簿記論、簿記演習(簿記演習ⅠまたはⅡ)、原価計算論					
授業外学習(予習・復習)	予習: 授業の計画を事前に確認して、積極的に予習に取り組む。 復習: 教科書などを確認しながら、基礎知識を身につけるように振り返る。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間	
使用教科書	平野秀輔著『財務管理の基礎知識 第3版』白桃書房(2019)					
参考書・その他教材	担当教員が作成する配布資料					
課題に対するフィードバック	提出された課題を確認してから、翌週の授業時に返却して解答・解説を行う。					
成績評価方法	期末試験(70%)、課題提出(20%)、平常点(10%)					
成績評価基準	課題への理解度、期末試験の結果などを踏まえて、本学の「学業成績判定に関する規定の基準」に基づき、到達度を総合的に評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	主体的に学習に取り組むこと。学習効果を高めるため、原価計算論など、他の会計学関連科目と合わせて履修することを推奨する。					
科目に関連した教員の実務経験	特になし					
担当教員への連絡方法	質問や相談など、メール(wu@aikoku-u.org)でも対応可。件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載する。					

### 授業スケジュール

財務管理論

1回	学習内容 予習 復習	イントロダクション(講義の概要、学習の進め方、達成目標など) シラバスを事前に確認して、教科書の序章を予習する。 配布資料、授業中の解説(板書)と教科書の序章を復習する。
2回	学習内容 予習 復習	財務諸表の考え方 配布資料、教科書の指定ページを予習する。 配布資料、授業中の解説(板書)と教科書の指定ページを復習し、演習問題を完成する。
3回	学習内容 予習 復習	経営分析の基礎 配布資料、教科書の指定ページを予習する。 配布資料、授業中の解説(板書)と教科書の指定ページを復習し、演習問題を完成する。
4回	学習内容 予習 復習	収益性の分析、演習問題と解説(履修生による解説を含む) 配布資料、教科書指定ページを予習する。 配布資料、授業中の解説(板書)と教科書の指定ページを復習し、演習問題を完成する。
5回	学習内容 予習 復習	付加価値の分析、演習問題と解説 配布資料、教科書指定ページを予習する。 講義内容、演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
6回	学習内容 予習 復習	財務安定性の分析、演習問題と解説(履修生による解説を含む) 配布資料、教科書指定ページを予習する。 講義内容、演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
7回	学習内容 予習 復習	第2～6回講義の復習、演習問題と解説(履修生による解説、講評を含む) 第2～6回の講義内容、演習問題と解説を復習する。 第2～7回の講義内容、演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
8回	学習内容 予習 復習	損益分岐点の分析 配布資料、教科書指定ページを予習する。 配布資料、授業中の解説(板書)と教科書の指定ページを復習し、演習問題を完成する。
9回	学習内容 予習 復習	キャッシュ・フローの分析(1) 配布資料、教科書指定ページを予習する。 配布資料、授業中の解説(板書)と教科書の指定ページを復習し、演習問題を完成する。
10回	学習内容 予習 復習	キャッシュ・フローの分析(2) 配布資料、教科書指定ページを予習する。 配布資料、授業中の解説(板書)と教科書の指定ページを復習し、演習問題を完成する。
11回	学習内容 予習 復習	会計管理の基礎概念 配布資料、教科書指定ページを予習する。 配布資料、授業中の解説(板書)と教科書の指定ページを復習する。
12回	学習内容 予習 復習	経営計画と予算 配布資料、教科書指定ページを予習する。 配布資料、授業中の解説(板書)と教科書の指定ページを復習し、演習問題を完成する。
13回	学習内容 予習 復習	意思決定会計 配布資料、教科書指定ページを予習する。 配布資料、授業中の解説(板書)と教科書の指定ページを復習し、演習問題を完成する。
14回	学習内容 予習 復習	第8～13回講義の復習、演習問題と解説、企業価値の算定方法 第8～13回の講義内容、演習問題と解説を復習し、配布資料を予習する。 第8～14回の講義内容、演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
15回	学習内容 予習 復習	総括: 第2～14回講義の復習、演習問題の解説(履修生による解説、講評を含む) 第2～14回の講義内容、演習問題と解説を復習する。 第2～14回の講義内容、演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。

科目名	原価計算論			科目コード	24220	
英文名	Cost Accounting			科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(選択)	
担当教員	呉 蔭		教員コード	157	単位数	2単位
開講期間	後期	曜日・時限	月曜日・3時限	授業形態	講義	
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける	<input checked="" type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う	<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探求する	<input type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	原価計算は、現代の経済社会を適切に運営するために不可欠なシステムである。本講義では、原価計算モデルの基本的特徴、原価計算制度の基本構造等の専門知識と応用力を習得することができる。					
授業の狙い・到達目標	原価計算制度の意義と基本構造を理解し、業界別の原価計算の基本的特徴に基づいた各種試算ができるようになる。					
授業内容のレベル・関連科目	会計学概論、財務管理論と比べて、本講義では、原価の計算に関する専門知識に特化した内容を中心とする。 関連科目：会計学概論、財務管理論					
授業外学習(予習・復習)	予習：授業の計画を事前に確認して、積極的に予習に取り組む。 復習：教科書、配布資料などを確認しながら、基礎知識を身につけるように振り返る。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間	
使用教科書	担当教員が下記の参考書に基づいて配布資料を作成して配布する。					
参考書・その他教材	廣本敏郎・挽文子著『原価計算論』(第3版)中央経済社(2020)					
課題に対するフィードバック	提出された課題を確認してから、翌週の授業時に返却して解答・解説を行う。					
成績評価方法	期末試験(70%)、課題提出(20%)、平常点(10%)					
成績評価基準	課題への理解度、期末試験の結果などを踏まえて、本学の「学業成績判定に関する規定の基準」に基づき、到達度を総合的に評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	財務管理論の知識がないと、履修は厳しい、学習効果を高めるため、前期で財務管理論を履修しておくことを強く求める。他の会計学関連科目とあわせて履修することを推奨する。					
科目に関連した教員の実務経験	特になし					
担当教員への連絡方法	質問や相談など、メール(wu@aikoku-u.org)でも対応可。件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載する。					

### 授業スケジュール

原価計算論

1回	学習内容 予習 復習	イントロダクション(講義の概要、達成目標など)、原価計算の意義 シラバスを事前に確認する。 配布資料を復習する。
2回	学習内容 予習 復習	原価計算モデルの基本的特徴 配布資料を予習する。 配布資料と授業中の解説(板書)を復習する。
3回	学習内容 予習 復習	製造業の原価計算、事例分析 配布資料を予習する。 配布資料と授業中の解説(板書)を復習し、指定の事例を調べて次回の授業で発表する。
4回	学習内容 予習 復習	サービス業の原価計算、事例分析 配布資料を予習する。 配布資料と授業中の解説(板書)を復習し、指定の事例を調べて次回の授業で発表する。
5回	学習内容 予習 復習	現場経営と原価計算、事例分析 配布資料を予習する。 配布資料と授業中の解説(板書)を復習し、指定の事例を調べて次回の授業で発表する。
6回	学習内容 予習 復習	原価計算制度の意義と基本構造 配布資料を予習する。 配布資料と授業中の解説(板書)を復習する。
7回	学習内容 予習 復習	取得原価の計算、演習問題と解説 配布資料を予習する。 配布資料と授業中の解説(板書)を復習し、演習問題を完成する。
8回	学習内容 予習 復習	費目別計算、演習問題と解説 配布資料を予習する。 配布資料と授業中の解説(板書)を復習し、演習問題を完成する。
9回	学習内容 予習 復習	部門別計算、演習問題と解説 配布資料を予習する。 配布資料と授業中の解説(板書)を復習し、演習問題を完成する。
10回	学習内容 予習 復習	第1～9回講義の復習、演習問題と解説(履修生による解説、講評を含む) 第1～9回の講義内容を復習する。 第1～9回の講義内容、演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
11回	学習内容 予習 復習	標準原価計算、演習問題と解説 配布資料を予習する。 配布資料授業中の解説(板書)、演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
12回	学習内容 予習 復習	直接原価計算、演習問題と解説 配布資料を予習する。 配布資料授業中の解説(板書)、演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
13回	学習内容 予習 復習	利益計画とCVP分析 配布資料を予習する。 配布資料授業中の解説(板書)を復習し、演習問題を完成する。
14回	学習内容 予習 復習	第10～13回講義の復習、演習問題と解説(履修生による解説、講評を含む) 第10～13回の講義内容、演習問題と解説を復習する。 第10～14回の講義内容、演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
15回	学習内容 予習 復習	総括(原価計算に対する総合的な理解)、演習問題と解説(履修生による解説、講評を含む) 第1～14回の講義内容、演習問題と解説を復習する。 第1～14回の講義内容、演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。

科目名	経営学概論				科目コード	24230			
英文名	Outline of Business Administration				科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(選択)			
担当教員	中野 慶昭			教員コード	163		単位数	2単位	
開講期間	前期	曜日・時限	月曜日・2時限		授業形態	講義			
学位授与方針との対応	◎	1.大学生としての幅広い教養を身につける			○	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する			
	○	3.論理的・批判的なものの見方を養う			○	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する			
		5.学習の過程で発見した課題を探索する			○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う			
授業概要	経営学の基礎概念を組織論と戦略論の観点から理解する。また、その基礎となる知識を習得する。								
授業の狙い・到達目標	経営学の基礎概念を主要な5つのテーマから体系的に理解できる。 主要テーマ:①組織論(ミクロ組織・マクロ組織)、②経営戦略論、③企業成長のための戦略と組織、④国際化のための戦略と組織、⑤イノベーション経営の戦略と組織								
授業内容のレベル・関連科目	経営学をはじめて学ぶ学生を対象としており、基礎的なレベルである。 経営組織論、経営戦略論、マーケティング論をあわせて受講することで、経営学に関する理解がより深まるものとする。								
授業外学習(予習・復習)	教科書と該当部分をあらかじめ読んでおく。 授業後は、授業内容を振り返り、自身でまとめておく。				授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間			
使用教科書	榊原清則著、『経営学入門』(上)(下)、日経文庫。								
参考書・その他教材	特定非営利活動法人経営能力開発センター編、『経営学検定試験公式テキスト』、中央経済社。								
課題に対するフィードバック	小レポート等の提出物に対し、内容を確認する。特に重要な点は講義中に共有する。								
成績評価方法	最終レポート(50%)、小レポート(30%)、平常点(20%)								
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。								
履修上の注意事項や学習上の助言	授業後の振り返りを必ず行うこと。また、小レポートについては自身の身近な出来事や話題を用いながら作成することを薦める。								
科目に関連した教員の実務経験	特になし								
担当教員への連絡方法	質問はメールでも受け付ける。 件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。								

## 授業スケジュール

経営学概論

1回	学習内容	〈イントロダクション〉 講義の概要と進め方を説明する	
	予習	シラバスを読んでおくこと	
	復習	本日の授業内容を振り返る。	
2回	学習内容	〈経営学とは何か〉 経営学の対象と経営学を構成する二大要素について概説する	
	予習	教科書を読んでおくこと	
	復習	本日の授業内容を振り返る。	
3回	学習内容	〈ミクロ組織論①〉 組織を構成する個人や集団の心理、行動について概説する	
	予習	教科書を読んでおくこと	
	復習	本日の授業内容を振り返る	
4回	学習内容	〈ミクロ組織論②〉 集団の機能の仕方にかわるリーダーシップと管理者行動について概説する	
	予習	教科書を読んでおくこと	
	復習	本日の授業内容を振り返る。	
5回	学習内容	〈マクロ組織論①〉 組織構造の特徴や複雑性などについて概説する	
	予習	教科書を読んでおくこと	
	復習	本日の授業内容を振り返る	
6回	学習内容	〈マクロ組織論②〉 組織構造の機能分析とデザインについて概説する	
	予習	教科書を読んでおくこと	
	復習	本日の授業内容を振り返る。	
7回	学習内容	〈前半のまとめ〉 第2～6回の内容を振り返る	
	予習	第2～6回の内容を復習してくる	
	復習	本日の授業内容を振り返り、小レポートを作成する。	
8回	学習内容	〈経営戦略論①〉 戦略論の基礎、資源戦略について概説する	
	予習	教科書を読んでおくこと	
	復習	本日の授業内容を振り返る	
9回	学習内容	〈経営戦略論②〉 競争戦略論、ドメイン戦略論について概説する	
	予習	教科書を読んでおくこと	
	復習	本日の授業内容を振り返る	
10回	学習内容	〈企業成長のための戦略と組織〉 成長戦略と組織について概説する	
	予習	教科書を読んでおくこと	
	復習	本日の授業内容を振り返る	
11回	学習内容	〈国際化のための戦略と組織〉 国際化の先進事例や組織について概説する	
	予習	教科書を読んでおくこと	
	復習	本日の授業内容を振り返る	
12回	学習内容	〈イノベーション経営の戦略と組織〉 イノベーション創出とその課題について概説する	
	予習	教科書を読んでおくこと	
	復習	本日の授業内容を振り返る。	
13回	学習内容	〈日本企業の経営課題〉 日本企業が直面する経営課題について概説する	
	予習	教科書を読んでおくこと	
	復習	本日の授業内容を振り返る	
14回	学習内容	〈後半のまとめ〉 第8～13回まで内容を振り返る	
	予習	第8～13回の内容を復習しておくこと	
	復習	本日の授業内容を振り返り、小レポートを作成する	
15回	学習内容	〈全体のまとめ〉 本講義のまとめと復習を行う	
	予習	第7回、14回を中心に復習しておくこと	
	復習	全15回の授業内容を振り返り、最終レポートを作成する	

科目名	マーケティング論			科目コード	24240		
英文名	Marketing Theory			科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(必修)		
担当教員	中野 慶昭		教員コード	163	単位数	2単位	
開講期間	後期	曜日・時限	木曜日・2時限		授業形態	講義	
学位授与方針との対応	<input type="checkbox"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける	<input checked="" type="checkbox"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する			
	<input type="checkbox"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う	<input type="checkbox"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する			
	<input type="checkbox"/>	5.学習の過程で発見した課題を探求する	<input type="checkbox"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う			
授業概要	マーケティングに関する基礎的な知識を学ぶ。						
授業の狙い・到達目標	マーケティングの考え方を、マーケティングの基本的な考え方4P(Product、Place、Promotion、Price)の内容に即して学び、また、4Pの組み合わせであるマーケティングミックスについて理解することでマーケティングの基礎的な知識を習得することができる。						
授業内容のレベル・関連科目	マーケティング論の入門から基礎までを学ぶ。経営学概論の知識と合わせることで、企業活動をより深く、具体的に知ることができる。						
授業外学習(予習・復習)	事前にテキストを読んでくること。毎日、日本経済新聞等の経済面を読み、社会や経済の動きを見る習慣をつける。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計60時間		
使用教科書	野口智雄、『ビジュアル マーケティングの基本』。日経文庫。						
参考書・その他教材	恩蔵直人、『マーケティング(第2版)』。日経文庫。						
課題に対するフィードバック	小レポート等の結果を通じてフィードバックする。						
成績評価方法	最終レポート(50%)、小レポート(30%)、平常点(20%)						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	授業後の振り返りを必ず行い、小レポートについては自身の身近な出来事や話題を用いながら作成すること。						
科目に関連した教員の実務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	質問はメールでも受け付ける。 件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。						

### 授業スケジュール

### マーケティング論

1回	学習内容 予習 復習	〈イントロダクション〉 講義の概要と進め方を説明する シラバスを読んでおくこと 本日の授業内容を振り返る
2回	学習内容 予習 復習	〈マーケティングとはなにか〉 4P、4C、マーケティングコンセプトなど、マーケティングの考え方に触れる 教科書を読んでおくこと 本日の授業内容を振り返る
3回	学習内容 予習 復習	〈市場の捉え方〉 セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニングなど市場のつかみ方を概説する 教科書を読んでおくこと 本日の授業内容を振り返る
4回	学習内容 予習 復習	〈市場での競争とマーケティング〉 SWOT分析、ポートフォリオ分析、競争戦略などを概説する 事前資料を読んでおくこと 本日の授業内容を振り返る
5回	学習内容 予習 復習	〈製品管理①〉 製品の考え方、開発プロセス、ライフサイクルなどの製品政策を概説する 教科書を読んでおくこと 本日の授業内容を振り返る
6回	学習内容 予習 復習	〈製品管理②〉 ブランドエクイティ、ブランド戦略などマーケティングにとってのブランドについて考える 教科書を読んでおくこと 本日の授業内容を振り返る
7回	学習内容 予習 復習	〈コミュニケーション方法〉 顧客へのコミュニケーションの実施方法を手段、戦略などを通して考える 教科書を読んでおくこと 本日の授業内容を振り返る
8回	学習内容 予習 復習	〈前半のまとめ〉 第2～7回の内容を振り返る 第2～7回の内容を復習しておく 本日の授業内容を振り返り、小レポートを作成する。
9回	学習内容 予習 復習	〈チャネルの構築方法①〉 チャネルの構築、チャネル政策の類型などについて概説する 教科書を読んでおくこと 本日の授業内容を振り返る
10回	学習内容 予習 復習	〈チャネルの構築方法②〉 様々なチャネルについて概説する 教科書を読んでおくこと 本日の授業内容を振り返る
11回	学習内容 予習 復習	〈価格設定方法①〉 価格設定の目的と方法について概説する 教科書を読んでおくこと 本日の授業内容を振り返る
12回	学習内容 予習 復習	〈価格設定方法②〉 心理的価格設定や割引などについて概説する 教科書を読んでおくこと 本日の授業内容を振り返る
13回	学習内容 予習 復習	〈非製造業のマーケティング〉 サービスマーケティングなどについて概説する 配布資料を読んでおくこと 本日の授業内容を振り返る
14回	学習内容 予習 復習	〈後半のまとめ〉 第9～13回の内容を振り返る 第9～13回の内容を教科書、レジュメで見直しておく 本日の授業内容を振り返り、小レポートを作成する
15回	学習内容 予習 復習	〈全体のまとめ〉 本講義のまとめと復習を行う 第8回、14回を中心に復習しておく 全15回の授業内容を振り返り、最終レポートを作成する



科目名	経営組織論			科目コード	24250		
英文名	Business Organization			科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(選択)		
担当教員	中野 慶昭		教員コード	163	単位数	2単位	
開講期間	前期	曜日・時限	木曜日・2時限		授業形態	講義	
学位授与方針との対応	○	1.大学生としての幅広い教養を身につける		○	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	◎	3.論理的・批判的なものの見方を養う			4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
		5.学習の過程で発見した課題を探求する		○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	経営組織の構成や組織内での個人の役割、望ましい組織の在り方などについて学ぶ。また、経営組織についての基本的知識を習得する。						
授業の狙い・到達目標	経営組織を学習しながらも、その中で働く個人からの視点も同時に理解できる。組織のなかの個人の欲求やモチベーション、モチベーションを喚起させる仕組み、集団の機能と組織、組織におけるリーダーシップなどについて理解できる。						
授業内容のレベル・関連科目	経営学概論を事前に受講していることが望ましい。 経営学概論で学習した基礎的な組織論をより深く学ぶ。						
授業外学習(予習・復習)	教科書を読んでくること。 講義で学習したことをもって、自身の身近にある組織を説明できるように意識すること。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間		
使用教科書	金井壽宏、『経営組織』、日経文庫。						
参考書・その他教材	特定非営利活動法人経営能力開発センター編、『経営学検定試験公式テキスト』、中央経済社。						
課題に対するフィードバック	小レポート等の提出物に対し内容を確認する。特に重要な点は講義中に共有する。						
成績評価方法	最終レポート(50%)、小レポート(30%)、平常点(20%)						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	授業後の振り返りを必ず行い、小レポートについては自身の身近な出来事や話題を用いながら作成すること。						
科目に関連した教員の実務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	質問はメールでも受け付ける。 件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。						

#### 授業スケジュール

#### 経営組織論

1回	学習内容 予習 復習	<イントロダクション> 講義の概要と進め方を説明する シラバスを読んでおくこと 本日の授業内容を振り返る
2回	学習内容 予習 復習	<組織とは何か> いろいろな組織の捉え方について概説する 教科書を読んでくること 本日の授業内容を振り返る
3回	学習内容 予習 復習	<組織の中の個人①> 組織観と人間観、マズローの欲求5段階説などについて概説する 教科書を読んでくること 本日の授業内容を振り返る
4回	学習内容 予習 復習	<組織の中の個人②>モチベーションとそれを喚起する仕組みについて概説する 教科書を読んでくること 本日の授業内容を振り返る
5回	学習内容 予習 復習	<個人と組織>個人と組織の関わり合い、組織の中での個人のキャリアなどについて概説する 教科書を読んでくること 本日の授業内容を振り返る
6回	学習内容 予習 復習	<集団とは何か> 集団の定義、集団のダークサイドなどについて概説する 教科書を読んでくること 本日の授業内容を振り返る
7回	学習内容 予習 復習	<リーダーシップ> 伝統的リーダーシップ論、企業における管理職の役割などについて概説する 教科書を読んでくること 本日の授業内容を振り返る
8回	学習内容 予習 復習	<前半のまとめ> 第2～7回の内容を振り返る 第2～7回の内容を復習してくる 本日の授業内容を振り返り、小レポートを作成する。
9回	学習内容 予習 復習	<組織構造> 官僚制組織論について概説する 教科書を読んでくること 本日の授業内容を振り返る
10回	学習内容 予習 復習	<経営組織の形態と設計①> ラインとスタッフ、職能部門制組織、事業部制組織などについて概説する 教科書を読んでくること 本日の授業内容を振り返る
11回	学習内容 予習 復習	<経営組織の形態と設計②> 組織設計の原理、組織構造の次元などについて概説する 教科書を読んでくること 本日の授業内容を振り返る
12回	学習内容 予習 復習	<経営組織の動態化、組織変革> 個人、集団、組織レベルでの変革や阻害要因などについて概説する 教科書を読んでくること 本日の授業内容を振り返る
13回	学習内容 予習 復習	<組織の方向付けと個人> 組織文化の捉え方、働く意味を与える組織などについて概説する。 教科書を読んでくること 本日の授業内容を振り返る
14回	学習内容 予習 復習	<後半のまとめ> 第9～13回の内容を振り返る。 第9～13回の内容を教科書や 本日の授業内容を振り返り、小レポートを作成する
15回	学習内容 予習 復習	<全体のまとめ> 本講義のまとめと復習を行う。 第8回、14回を中心に復習しておくこと 全15回の授業内容を振り返り、最終レポートを作成する

科目名	経営管理論			科目コード	24260		
英文名	Business Management			科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(選択)		
担当教員	大屋 伸彦		教員コード	161	単位数	2単位	
開講期間	前期	曜日・時限	水曜日・1時限		授業形態	講義	
学位授与方針との対応	◎	1.大学生としての幅広い教養を身につける		2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する			
	○	3.論理的・批判的なものの見方を養う		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する			
	○	5.学習の過程で発見した課題を探索する		6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う			
授業概要	人々に影響を与える組織活動と組織を管理運営する手法について正しい方法を学ぶ。企業における様々なマネジメントについて学ぶ。						
授業の狙い・到達目標	経営管理論の基本的な用語や内容を理解し、企業が行う経営管理手法を把握することで、様々な企業形態において、どのような社会問題が存在しているのかを考えられるようになる。						
授業内容のレベル・関連科目	前提知識は必須ではないが、併せてベンチャービジネス論を履修することが望ましい。						
授業外学習(予習・復習)	予習・復習については教員からの指示に従い行うこと。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計60時間		
使用教科書	教員が資料を配布する予定。						
参考書・その他教材	塩次喜代明・高橋伸夫・小林敏男「経営管理」有斐閣アルマ						
課題に対するフィードバック	特になし						
成績評価方法	期末試験(70%)、講義への取り組み(30%)						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	講義のはじめに前回講義の復習をする。						
科目に関連した教員の実務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	メールでの質問(ohya@aikoku-u.org)またはオフィスパワー(初回講義時にアナウンスする)。メールでの問合せは、件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。						

## 授業スケジュール

経営管理論

1回	学習内容 予習 復習	イントロダクション(講義の進め方など)、経営管理の現状と課題 シラバスを読んでおくこと 講義の目的を理解しておくこと
2回	学習内容 予習 復習	経営管理の変遷 前講義で指示した事柄について調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
3回	学習内容 予習 復習	経営管理の発展 前講義で指示した事柄について調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
4回	学習内容 予習 復習	組織のデザイン 前講義で指示した事柄について調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
5回	学習内容 予習 復習	モチベーション論 前講義で指示した事柄について調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
6回	学習内容 予習 復習	リーダーシップ論 前講義で指示した事柄について調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
7回	学習内容 予習 復習	組織構造のマネジメント 前講義で指示した事柄について調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
8回	学習内容 予習 復習	前半のまとめ 1回から7回までの内容を復習しておく 配布した資料を読み、理解しておくこと
9回	学習内容 予習 復習	モチベーションと組織活性化 前講義で指示した事柄について調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
10回	学習内容 予習 復習	経営のリーダーシップ 前講義で指示した事柄について調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
11回	学習内容 予習 復習	企業文化の創造と変革 前講義で指示した事柄について調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
12回	学習内容 予習 復習	日本の経営管理 前講義で指示した事柄について調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
13回	学習内容 予習 復習	グローバル戦略 前講義で指示した事柄について調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
14回	学習内容 予習 復習	育てる経営の管理へ 前講義で指示した事柄について調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
15回	学習内容 予習 復習	後半のまとめ 9回から14回までの内容を復習しておく 全15回の講義を振り返り経営管理について理解を深めておくこと

科目名	経営戦略論			科目コード	24270	
英文名	Business Strategy			科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(選択)	
担当教員	中野 慶昭		教員コード	163	単位数	2単位
開講期間	前期	曜日・時限	火曜日・3時限		授業形態	講義
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける	<input checked="" type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う	<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探究する	<input type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	企業が競争の市場において生き残るための戦略を、経営戦略についての様々な概念や理論を理解し、企業が実際に取っている経営戦略を学ぶ。					
授業の狙い・到達目標	資源戦略、競争戦略、ドメイン戦略の概要を学び、「成長市場を探す」「自社の強みを生かす」「戦略を考える」など企業が実際に直面する場面ごとに、実現可能でよりよい戦略をどう描くのかについて学ぶことで、経営戦略の理論を習得することができる。					
授業内容のレベル・関連科目	経営学概論を事前受講していることが望ましい。 経営学概論で学習した基礎的な戦略論をより深く学ぶ。					
授業外学習(予習・復習)	授業計画や教員からの指示をよく確認して予習に取り組むこと。 授業内容について振り返り、小レポートを作成すること。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間	
使用教科書	榊原清則、『経営学入門』(上)。日経文庫。					
参考書・その他教材	菅野寛、『全社戦略がわかる』。日経文庫。					
課題に対するフィードバック	小レポート等の提出物に対し内容を確認する。特に重要な点は講義中に共有する。					
成績評価方法	最終レポート(50%)、小レポート(30%)、平常点(20%)					
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	授業後の振り返りを必ず行い、小レポートについては自身の身近な出来事や話題を用いながら作成すること。					
科目に関連した教員の業務経験	特になし					
担当教員への連絡方法	質問はメールでも受け付ける。 件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。					

### 授業スケジュール

経営戦略論

1回	学習内容 予習 復習	<イントロダクション> 授業の概要説明を行う シラバスを読んでおくこと 本日の授業内容を振り返る
2回	学習内容 予習 復習	<経営戦略とは何か> 戦略と目標、目的、標的など戦略論の基礎を概説する 教科書の該当箇所を読んでくる 本日の授業内容を振り返る
3回	学習内容 予習 復習	<資源戦略> 経験曲線と価格戦略、PPMなど資源配分の考え方について概説する 教科書の該当箇所を読んでくる 本日の授業内容を振り返る
4回	学習内容 予習 復習	<競争戦略①> マイケル・ポーターの5フォースモデルなど、競争戦略について概説する 教科書の該当箇所を読んでくる 本日の授業内容を振り返る
5回	学習内容 予習 復習	<競争戦略②> マイケル・ポーターの5フォースモデルを使って競争構造の分析を説明する 配付資料を読んでくる 本日の授業内容を振り返る
6回	学習内容 予習 復習	<競争戦略③> 競争戦略としてのマーケティングについて説明する 配付資料を読んでくる 本日の授業内容を振り返る
7回	学習内容 予習 復習	<ドメイン戦略> 事業領域や戦略領域など組織がやり取りする環境部分について概説する 教科書の該当箇所を読んでくる 本日の授業内容を振り返る
8回	学習内容 予習 復習	<前半のまとめ> 第2～7回の内容を振り返る 第2～7回の内容を復習してくる 本日の授業内容を振り返り、小レポートを作成する
9回	学習内容 予習 復習	<環境分析> 戦略を立てるための環境分析について考える 配付資料を読んでくる 本日の授業内容を振り返る
10回	学習内容 予習 復習	<事業領域> ドメイン戦略について考える 配付資料を読んでくる 本日の授業内容を振り返る
11回	学習内容 予習 復習	<事業戦略> 事業の戦略について考える 配付資料を読んでくる 本日の授業内容を振り返る
12回	学習内容 予習 復習	<資源戦略> 全社における資源戦略について考える 配付資料を読んでくる 本日の授業内容を振り返る
13回	学習内容 予習 復習	<戦略運営> 運営における仕組みと修正について考える 配付資料を読んでくる 本日の授業内容を振り返る
14回	学習内容 予習 復習	<後半のまとめ> 第9～13回の内容を振り返る 第9～13回の内容を教科書、レジュメで見直しておく 本日の授業内容を振り返り、小レポートを作成する
15回	学習内容 予習 復習	<全体のまとめ> 本講義のまとめと復習を行う 第8回、14回を中心に復習しておく 全15回の授業内容を振り返り、最終レポートを作成する